

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	803,035	1,727,622	△ 924,587

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額					
1 パスモ2020年度施策	440,611					
(1 事業目的・内容)						
【事業目的】 毎年、ICカード「PASMO」の機能改善を他事業者と統一してシステム改善を行っています。						
【内容】 パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでおり、2020年度は以下の項目について対応する予定をしております。 これに伴って本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。						
施策項目	内容					
運賃改定	定期券発売金額を変更する。 (券売機、定期券発行機)					
新駅開業	新線・新駅開業、駅名・社名変更のため画面表示・履歴印字・定期券発売範囲の変更をする。 (券売機、窓口処理機、定期券発行機)					
IC企画券導入	IC企画券(地下鉄単独、バス・地下鉄)の発売を行う。 (券売機、定期券発行機)					
【作業完了予定】 令和3年3月						
(2 前年度から変更・見直した点) 改修内容の変更						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) なし						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)					
<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有					
<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無					
(6 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	404,735	440,611				845,346
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 高速ネットワーク更新作業(BL)	
(1 事業目的・内容)	
【事業目的】 ・機器障害時対応 ・現行機能維持	
【内容】 地下鉄の高速ネットワークは隣接駅を地下鉄隧道内に敷設した光ケーブル繋ぎ、駅に入出力装置を設置し、リング状にしたもので、自動駅務機器、YCANなどで共用しております。 ブルーラインに設置したネットワーク機器については平成25年度に機器更新を行いました。6年(耐用年数5年)を経過し老朽化が進んでおります。また、駅間を繋いでいる光ケーブル(8SM)は平成2年に敷設した心線を使用しています。 光ケーブル(100SM:平成27年完成)にネットワークの切り替えを行うとともにブルーラインのネットワーク更新を行います。 なお、一般的に光ケーブルの耐用年数は、「低圧ケーブル」と同様の20～30年と考えられています。	
ブルーライン:平成25年度更新	
【機能改善内容】 ・高速性の向上	
【機器更新完了予定】 令和3年3月	
(2 前年度から変更・見直した点) 前年度から見送り、ブルーラインのネットワーク機器更新	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) なし	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
4 AVR更新に伴う電気設備工事(3駅)	

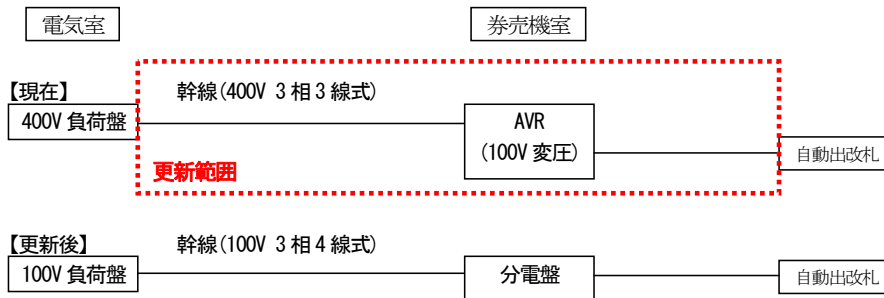
(1 事業目的・内容)

【事業目的】

- ・機器障害時対応
- ・現行機能維持

【内容】

機器設置から約30年が経過した自動出改札装置用のAVR(安定化電源装置)を更新するため、電気室～券売機室までの幹線ケーブルと分電盤を設置する電気設備工事をおこないます。



【機能改善内容】

- ・機器機能集約(電気室から100V配電)

【機器更新完了予定】

令和3年3月

(2 前年度から変更・見直した点)

2駅⇒3駅に施行箇所を拡大

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

なし

(4 除却資産の有無)

有

無

(5 補助対象の有無)

有

無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	10,742					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 改札機IC処理ソフトウェア利用許諾契約に基づく個別改訂版ソフトウェアの支払契約	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】
自動改札機でのPASMO、Suicaの利用環境の維持

【内容】
首都圏でのICカードの相互利用サービスに必要となる自動改札機のソフトウェアに対し毎年行う改修について、機器台数分の利用許諾料を支出します。

【機器設置台数】
自動改札機 224台(模擬環境用の2台除く)

(2 前年度から変更・見直した点)
PASMO年度施策の推進

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
なし

(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)

有 有

無 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	23,153					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
6 多目的デジタル案内板ソフト改修作業委託	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

- ・お客様の利便性向上
- ・お客様への情報提供
- ・駅係員の案内業務軽減

【内容】

多目的デジタル案内板は、市営交通の運行状況などをお客様にわかりやすく伝達する機器(デジタルサイネージ)です。令和2年度は、交通局の情報発信ツール(HP、ツイッター、緊急情報システム)との連携強化し、さらにお客様へのわかりやすい情報内容に変更します。

<現在の画面>

- ・自社線の運行情報
- ・他社線の運行情報
- ・運行情報履歴表示
- ・駅個別の情報表示
- ・地下鉄広報
- ・防災情報

<改修内容>

- ・HP、ツイッター、緊急情報システムとの連携強化

<自社線の運行情報>



横浜市津波情報 東京湾内湾で津波注意報が発表されました。

<地下鉄広報>



東急東横線 Tokai Toyoko Line 上下線 Inbound and outbound lines 全線 All lines 遅延 Delay 理由: 乗客の入立 (Cause: Person on board)	京急線 Keikyu Line 上下線 Inbound and outbound lines 全線 All lines 遅延 Delay 理由: 混雑 (Cause: Congestion)
みなとみらい線 Minatomirai Line 上下線 Inbound and outbound lines 全線 All lines 遅延 Delay 理由: 安全確認 (Cause: Safety check)	小田急線 Odakyu Line 上下線 Inbound and outbound lines 全線 All lines 遅延 Delay 理由: 信号機点検 (Cause: Signal inspection)

【機器設置台数】

多目的デジタル案内板 51台

【機器改修完了予定】

令和3年3月

<他社線の運行情報>

平成28年度設置		平成29年度設置		平成30年度設置	
駅名	設置台数	駅名	設置台数	駅名	設置台数
1 横浜	4	1 戸塚	2	1 北山田	1
2 新横浜	2	2 あざみ野	1	2 都筑ふれあいの丘	1
3 桜木町	1	3 日吉	1	3 弘明寺	1
計	7	4 上大岡	2	4 阪東橋	1
		5 センター南	1	5 中川	1
		6 センター北	1	6 港南中央	1
		7 湘南台	1	7 中田	1
		8 上永谷	1	8 三ツ沢上町	1
		9 仲台	1	9 吉野町	1
		10 中山	1	10 高田	1
		11 磯田	2	11 日吉本町	1
		12 立場	1	12 北新横浜	1
		13 片倉町	1	13 三ツ沢下町	2
		14 新羽	1	14 岸根公園	1
		15 踊場	1	15 下永谷	1
		16 伊勢佐木長者町	1	16 東山田	1
		追加 横浜	1	17 高島町	1
		駅外 司令所	1	18 川和町	1
		計	21	19 下飯田	1
				20 舞岡	1
				21 関内	2
				計	23

(2 前年度から変更・見直した点)

コンテンツ内容の見直し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

なし

(4 除却資産の有無)

有

無

(5 補助対象の有無)

有

無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	7,817					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
7 地下鉄後方業務支援システム改修業務委託	
(1 事業目的・内容)	
<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務効率の向上 ・職員意識向上 ・乗務員安全管理 ・データ管理性能の向上 <p>【内容】</p> <p>後方業務支援システムは、各駅・駅務管理所・乗務管理所・電気区・総合司令所などで使用されている「駅務管理システム・運輸業務支援システム・施設管理システム」等のシステムを総称した名称で、地下鉄現業所属の職員の事務作業の効率化を目的に導入されております。</p> <p>令和2年度は以下の改修要望の改修作業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練管理システム 添乗員評価項目変更 ・教育訓練管理システム 乗務員ログイン及び成績出力 ・教育訓練管理システム 随時教育計画更新時の実績出力 ・乗務管理システム運行ポータルサイトへの情報連携 ・施設管理システム 障害一覧出力 ・ユーザー一括修正 <p>【システム詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運輸業務支援システム 乗務員仕業、乗務員勤務予定、所定労働時間算出、教育訓練管理、運転概況日報、運転統計帳票の作成及び乗務員出退勤状況、出場時刻の表示を行っております。 ・駅務管理システム(遺失物管理システム) 遺失物の管理、駅事務室、案内所で発売した乗車券の売上管理、駅名キーホルダー等物品の在庫、発売管理、乗車券紙や備用品類の在庫管理、車椅子や補助犬での利用者数集計等を行っております。 ・施設管理システム 年間作業予定、実績の作成・管理、月間作業予定、実績の作成・管理、点呼表、日報の作成・管理、作業記録簿類の作成・管理等を行っております。 <p>【機器改修完了予定】 令和3年3月</p>	
(2 前年度から変更・見直した点) 改善要望	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) なし	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有
<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
8 新市庁舎ネットワーク追加構成変更	
(1 事業目的・内容)	
<p>【事業目的】</p> <p>新市庁舎の法定電源設備点検において、土休日に最長2日間の停電が発生することが判明しました。 令和元年度に実施している新市庁舎ネットワーク構築委託では、新市庁舎をネットワークの中心として構築するため、停電時は営業所及び駅から緊急情報システムの情報更新及び本市YCANサービスの利用ができなくなります。 営業所及び駅から新市庁舎を経由せずに本市YCANに接続できるよう、別経路を構築することで、停電時においても交通局YCANが正常に利用できるよう整備します。</p> <p>【内容】</p> <p>新羽車両基地に、本市YCANに接続するためのネットワーク機器(ファイアウォール)を設置し、営業所及び駅から車両基地を経由して本市YCANのデータセンターにアクセスできるようにします。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
9 乗務管理所無線LAN導入	
(1 事業目的・内容)	
<p>【事業目的】 乗務管理所のWindows 10タブレットは、転送量制限のある携帯電話回線のみで通信しているため、膨大な通信が必要なアップデートが適用できていません。 無線LANによる通信を可能にして、タブレットにおいて適切なセキュリティ運用ができるようにします。</p> <p>【内容】 乗務管理所に無線LANアクセスポイントを設置することで、タブレットの無線LANによる通信を可能にして、継続的にアップデートを適用できるようにします。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額					
13 責任職用YCAN端末タブレット						
(1 事業目的・内容)						
【事業目的】 責任職のタブレット端末は2015年度に購入し、耐用年数を経過したため、機器更新します。						
【内容】 責任職のタブレット端末を購入し、機器更新します。						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 除却資産の有無)						
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
(5 補助対象の有無)						
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
(6 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	743					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本
(単位：千円)	
【事業内容】	2年度予算額
16 局内向けサイネージ	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 パソコンを利用しない職員をターゲットとしたオフィスサイネージを導入します。令和2年度は保守管理所への導入し、安全意識の醸成などを目指します。</p> <p>【内容】 令和元年度は、営業所および乗務管理所へ導入しました。引き続き、2年度は保守管理所に導入します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：今井、田中、西川、高橋、野牧、松本

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
17 サーバ仮想化用HCI	
(1 事業目的・内容)	
【事業目的】 交通局YCAN(行政情報ネットワーク)の運用において必要なサーバを構築します。	
【内容】 ウィルス対策ソフトウェアサーバー、統合ファイルサーバ等のネットワーク運用に必要な専用サーバーを順次構築します。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：加藤、安藤

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	11,707	900	10,807

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 職員提案制度(旧自主企画事業支援制度)	1,000

(1 事業目的・内容)

現場職員の声を事業運営に活かすことを目的に、職員が提案したアイデアに対して予算を割り当て、提案した職場が主体となり事業を実施する制度です。

【参考】平成30年度主な実施事業

- ・窓口改札のポケット設置(あざみ野駅)
- ・緊急時等支援活動用ワッペンを作成(新羽乗務管理所)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	900	1,000				1,900
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：加藤、安藤

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 新市庁舎一括調達什器・備品・会議室稼働壁	10,707
<p>(1 事業目的・内容) 新市庁舎移転に伴う一括調達什器・備品(執務室デスク・椅子・キャビネット・会議室テーブル・ロッカー・シュレッダー等)・会議室稼働壁</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：経営管理課 担当者名：石黒、田中、井口

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	800	909	△ 109

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 トンネル設備保全のための地上権取得費	800
(1 事業目的・内容)	
<p>高速鉄道事業会計が保有する地下鉄トンネル設備の保全のため、地上権設定が新たに必要となる土地の所有者に対し補償金を支払い権利を設定します。</p> <p>具体的には国有地等、地下鉄建設時には地上権を設定してない土地について払い下げが発生した場合、その土地購入者と新たに地上権設定契約を締結し、高速鉄道事業施設所有のため補償金を支払い、地上権設定登記を法務局で行う必要があります。地上権が設定された土地においては、今後、建物、その他工作物を築造する場合、あらかじめ設計工法等について当局と協議をすることを条件とできるほか、また地下のトンネル等に地上から加わる荷重を制限することができます。</p> <p>例年2件程度、地上権の取得が必要な案件が発生しており、令和2年度についても同様の地上権取得を見込みます。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：資産活用課 担当者名：高澤、田中、橋本、斎藤

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		69,083	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 広告管理システム改修	

(1 事業目的・内容)

媒体管理機能改善

広告管理システムについて、SP広告申込への機能追加等を実施することで、事務改善を図ります。

(2 前年度から変更・見直した点)

SP広告のシステム化、駅貼りポスター広告・ホームドア広告の申込機能システム化、
中づり管路表ほかの色分け機能の追加・見易さの改善

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

現在、システム化されていない広告媒体の数が多く、(2)の内容を令和2年度に改修することで、
より業務の効率が上がるだけでなく、請求事務作業の際によりミスを減らせると考える。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(5 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,475					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：人事課 担当者名：山口

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	160	432	△ 272

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 うがい器更新	160
(1 事業目的・内容)	
<p>以下の事業所のうがい器については、耐用年数(5~7年)以上経過した機械を使用しているため、性能が低下している上に職員数の多い事業所ということで使用頻度が高く、インフルエンザや風邪などが流行する時期に使用できなくなる可能性があります。現在設置している同型大容量タイプのうがい器に更新し、病気の予防・拡散防止など衛生管理一貫として機器の購入を進めていきます。</p> <p>新羽保守管理所(平成18年設置)</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：能力開発センター 担当者名：戸田、浅田、坂井

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額		58,680	

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 地下鉄3000形運転シミュレータ装置OS更新	
(1 事業目的・内容)	
<p>動力車操縦者養成所教材室に設置されている地下鉄3000形運転シミュレータ装置は、動力車操縦者運転免許に関する省令に基づき、教材として国土交通省関東運輸局へ届け出ていますが、平成25年12月に導入以来、経年による故障、不具合等が発生してきています。</p> <p>故障等で使用できなくなると、運転士養成科の授業ができなくなるばかりでなく、養成所監査の指導対象となります。また、同シミュレータ装置に使用されているパソコンのOSは、Windows7であり、2020年1月14日をもってマイクロソフト社のサポートが終了することに加え、パソコン本体の故障の際、部品交換が難しくなるため、パソコンをWindows10に更新します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
<p>「指定動力車操縦者養成所に対する指導基準」(通達)平成18年3月16日改正 12教材「運転台の可動模型」に基づく設置義務</p>	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：営業課(高速) 担当者名：関

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	6,600	7,631	△ 1,031

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額					
1 IP無線機の配備						
(1 事業目的・内容)						
緊急時及び平時における駅職員間の情報伝達を円滑に行うためIP無線機を配備する。						
◇配備実績・計画 単位:台						
年度	配備先	基地局	無線機			
24	横浜駅	1	8			
25	新横浜駅	1	9			
26	—	—	—			
27	—	—	—			
28	関内駅、センター南駅、あざみ野駅	3	24	※24～28年度はデジタル簡易無線機配備 ※29年度よりIP無線機配備		
29	センター北駅、上大岡駅、戸塚駅	—	24			
30	鉄営、司令、新横浜駅(更新)	—	6			
31	新横浜駅(更新)	—	7			
2	関内駅(更新)	—				
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
設置要望があった駅には無線機配置完了。 駅務管理所よりデジタル簡易無線機をIP無線機に変更する要望有。 無線機の劣化状況等を考慮しながら更新時期を検討する。						
(4 除却資産の有無)		(5 補助対象の有無)				
<input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 有				
<input checked="" type="checkbox"/> 無		<input checked="" type="checkbox"/> 無				
(6 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	743					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：営業課(高速) 担当者名：関

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額					
4 大型液晶パネル						
(1 事業目的・内容)						
新市庁舎の高速鉄道本部スペースにて、多目的デジタル案内板・在線表示等を放映するために購入する。						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)					
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
(6 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：運転課 担当者名：吉田

【事業内容】	(単位:千円) 2年度予算額																					
4 各駅一斉連絡設備設置	1,650																					
<p>(1 事業目的・内容) 現在、電車の遅延情報については、指令電話で全駅に通報しています。これを、駅事務室にスピーカーを設置して司令所にある改札口案内放送機器から遅延情報を流すことで、駅業務(定期発売・お客様案内など)を止めることなく情報を配信できるようにします。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(6 年次表)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>元年度予算</th> <th>2年度予算</th> <th>3年度予定</th> <th>4年度予定</th> <th>5年度以降</th> <th>総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td>1,650</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,650</td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額	事業費		1,650				1,650	債務負担設定						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額																
事業費		1,650				1,650																
債務負担設定																						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：運転課 担当者名：吉田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

5 ダイヤ作成装置改修

(1 事業目的・内容)

設備の変更・更新による列車走行環境の変化等に柔軟に対応したダイヤを作成できるよう、ダイヤ作成装置における条件設定や運行管理システムとの連携について改修を行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有

有

無

無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：駅務管理所 担当者名：弓野・守賀

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	4,356	0	4,356

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額												
1 空気呼吸器更新													
(1 事業目的・内容)													
<p>メーカーの修理基準(15年)を超えた空気呼吸器本体=47台、高圧空気容器78本。 本体製造年が最も古いものを配備している湘南台管区から順に、高圧空気容器とともに3駅分程度ずつ更新します。</p>													
<p>【空気呼吸器本体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1998年製・・・8台 ● 2000年製・・・9台 ● 2001年製・・・23台 ● 2002年製・・・6台 ● 2003年製・・・1台 2008年製・・・16台 2010年製・・・1台 2015年製・・・4台 	<p>【高圧空気容器】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1992年製・・・8本 ● 1998年製・・・12本 ● 1999年製・・・1本 ● 2000年製・・・1本 ● 2001年製・・・47本 ● 2002年製・・・9本 2008年製・・・24本 												
<p>空気呼吸器更新予定台数</p> <table> <tr><td>2020年</td><td>6台</td></tr> <tr><td>2021年</td><td>6台</td></tr> <tr><td>2022年</td><td>6台</td></tr> </table>	2020年	6台	2021年	6台	2022年	6台	<p>高圧空気容器更新予定本数</p> <table> <tr><td>2020年</td><td>9本</td></tr> <tr><td>2021年</td><td>9本</td></tr> <tr><td>2022年</td><td>9本</td></tr> </table>	2020年	9本	2021年	9本	2022年	9本
2020年	6台												
2021年	6台												
2022年	6台												
2020年	9本												
2021年	9本												
2022年	9本												
(2 前年度から変更・見直した点)													
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)													
平成14年3月8日付国鉄技第157号「鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の解釈基準」別冊1「鉄道に関する技術上の基準を定める省令の解釈基準」													
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)												
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無												
(6 年次表)													

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 駅務管理所 担当者名： 弓野・守賀

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 サービス接遇選手権 優勝トロフィー制作	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>サービス接遇選手権優勝者に贈呈するトロフィーを作成します。 トロフィーは翌年返却とし、長期にわたり使用可能なものとします。 また、優勝者名を記載したリボンをつけ足してタイプではなく、台座部に代々の優勝者名を刻印できるタイプを検討しています。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 駅務管理所 担当者名： 弓野・守賀

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
3 サービス接遇選手権備品制作	
<p>(1 事業目的・内容) 選手権当日使用する舞台セットの制作。 ラチ外券売機部・案内所部・ラチ内部と、全体を3ピース構造とし、分割が可能で収納・運搬が容易なものを制作する。 また、長期にわたり繰り返し使用できるものとする。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	3,347,974	2,964,910	383,064

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 3000NRS形ATO装置更新	89,999

(1 事業目的・内容)

ATO装置は、出発から駅間走行、車両停止までの走行制御を自動的に行う、ワンマン運転をサポートする装置です。検知した地点情報から力行指令、ブレーキ指令を列車制御管理装置(YTM装置)経由で制御装置とブレーキ装置に伝達します。

3000N形車両、3000R形車両、3000S形車両に搭載されているATO装置は、いずれも導入から10年以上経過しており、故障件数が増加していることから、装置の更新により、車両走行の安全性を維持します。

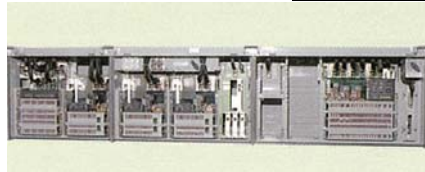
【更新計画】

平成30年度からの3か年計画です。この間に、重要部・全般検査の入場期間にあたる編成は、その期間に合わせて更新し、入場期間から外れる編成については、車両をとめて更新します。

<3か年契約の3年目>

項目	30年度	元年度	2年度	合計
数量	1編成	14編成	14編成	29編成
N形		2編成	5編成	
R形		5編成	9編成	
S形	1編成	7編成		

※予備品は一式は2年度納入



ATO装置(ATC装置含む)

【業務区分】

大きく分けて、機器の製造と機器の脱着(取付け・取外し)業務があります。

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

現場の意見

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	68,855	89,999				163,791
債務負担設定						171,535

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

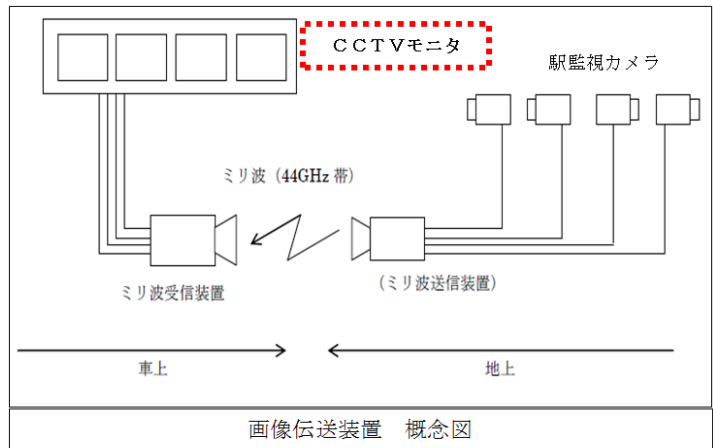
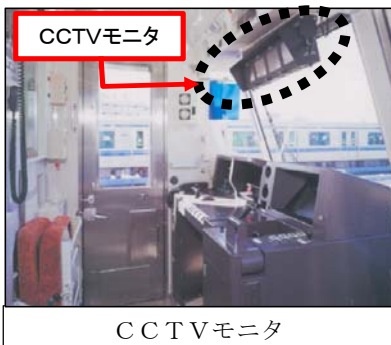
【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 3000NRS形画像伝送装置モニタ更新	29,897

(1 事業目的・内容)

画像伝送装置は、運転士の扉開閉操作に際して、乗降客の安全を確保するため、ホーム画像を乗務員室に設置されたCCTVモニタに表示するシステムです。乗務員の扉開閉操作時における安全確認のために常に安定した性能・動作を求められる重要なシステムです。
 画像伝送装置を導入してから約10年が経過し、電子機器部品の劣化が進行する時期となったため改修するものです。
 ※製造メーカーの推奨交換周期(CCTVモニタ:6年)
 本更新については、3000形のN形、R形、S形(全29編成)について改修いたします。

<作業計画>

令和元年度 14編成の更新 及び予備品7台納入
 令和2年度 14編成の更新



(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	35,154	29,897				85,751
債務負担設定						50,328

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
3 10000形1次車列車無線スプリアス対策ほか	27,773

(1) 事業目的・内容

列車無線装置は乗務員室に搭載されており、車両、司令所間の連絡や非常発報等の機能を備える重要な保安通信設備です。車両のアンテナから送信される電波には列車無線としての機能を果たすうえで不要な周波数成分(スプリアス)が含まれます。これは、電波障害の原因となるため、無線設備規則で許容値が定められています。しかし、平成17年に無線設備規則が改正され、10000形1次車に搭載されている旧規格値の列車無線装置は、令和4年11月30日をもって使用できなくなります。(2次車は対応済みです。)

10000形1次車の列車無線装置を新スプリアス規格に対応させるため、当該部品の改修が必要となります。また、1次車の列車無線装置は平成30年で製造から10年以上が経過し電子部品の劣化が進行しています。平成30年度から機器のオーバーホールを実施するとメーカーの推奨する交換周期(最長15年)以内に全15編成の更新が終了することから、機器のオーバーホールも合わせて実施し、コスト削減と故障のリスクの低減を図ります。

更新計画<5か年契約の3年目>

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
数量	3編成	4編成	4編成	4編成	0編成	15編成
改修費	22,320	38,784	25,248	25,248	400	112,000
脱着費	1,092	608	—	—	—	1,700
消費税	8%	10%	10%	10%	10%	
	1,874	3,939	2,525	2,525	40	10,903
合計	25,286	43,331	27,773	27,773	440	124,603
備考		予備品含む			免許更新のみ	

※平成30年度は支払実績、令和元年度以降は支払予定額

(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

・無線設備規則 第7条

(4) 除却資産の有無

 有
 無

(5) 補助対象の有無

 有
 無

(6) 年次表

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	42,582	27,773	27,773	440		131,382
債務負担設定						148,542

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 ブルーライン車内案内表示システム改修	327,876

(1 事業目的・内容)

- ・現行のブルーラインの車内案内表示は、他社線の運行情報は表示できておらず、お客様が情報を得るためには、お客様が所有されているインターネットツール(携帯情報端末等)または乗務員による車内放送から情報を得るしかない状況です。
 - ・この状況を改善し、お客様に迅速かつ正確に運行情報を提供するため、ブルーライン車両の車内案内表示システムの改修を実施します。
 - ・現行のLEDスクロール式を液晶式(2画面)として、お客様により分かりやすい情報提供が可能となるよう改修を実施します。(動画表示あり)
- 液晶画面には、お客様からご要望のある快速誤乗車防止の案内も表示します(既存車にも展開)。



車内表示器 表示イメージ(2画面/ドア)

	H29	H30	H31・R元	R2	R3
3000R・S形 改修 (22編成)	6編成	1編成	7編成	6編成	2編成
	施工済み	施工済み	施工済み		

- ※1 3000A形(8編成)はR4～R5に予定している車両更新にて実施
- ※2 3000N形(7編成)はR5年度以降に検討している車両更新にて実施

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～40年度)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	375,568	327,876	109,292			910,619
債務負担設定						804,788

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
5 3000R形車両電気品更新	125,094

(1 事業目的・内容)

3000R形車両は製造から14年以上が経過しており、主要装置に使われている電子部品等の経年劣化が生じる時期に来ていることから、装置の更新により、車両走行の安全性を維持します。

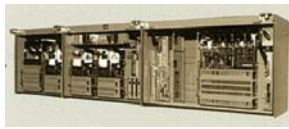
【更新計画】

令和元～4年度の重要部・全般検査の入場工程に合わせて、下記①～④の装置の更新を行います。
ただし、初編成については先行して令和元年度に入場工程外で更新します。

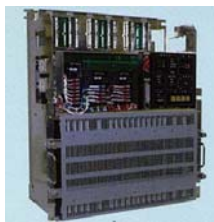
<4か年契約の1年目>

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
数 量	1編成	2編成	5編成	6編成	14編成

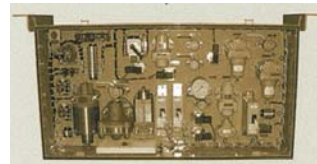
(予備品除く)



ATC装置



YTM装置



ブレーキ装置



運転状況記録装置

【更新機器】

- ①ATC装置
- ②YTM装置
- ③ブレーキ装置
- ④運転状況記録装置

(2 前年度から変更・見直した点)

更新と脱着の契約を分けて2契約としていましたが、脱着込みの更新の1契約としました。
ATC共通部、YTM ICカードの数量を変更しました。
運転状況記録装置の脱着の委託を直営に変更しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)
現場の意見

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	81,239	125,094	312,734	436,948		956,015
債務負担設定	1,013,330					1,013,330

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
6 3000NRS形運転台継電器盤更新	23,757

(1) 事業目的・内容)

車両の安全運行に欠かせない、運転台の継電器類(運転台継電器盤)について更新します。

【更新計画】

令和元年度～令和4年度の4か年で装置の更新を行います。

この4か年の中で、重要部・全般検査が予定されている編成については、入場工程内で更新します。

<4か年契約の2年目>

項目	元年度	2年度	3年度	4年度	合計
数量	1編成+予備品1台	11編成+予備品4台	10編成	6編成	28編成+予備品5台

(更新対象車両：3000NRS形車両28編成+予備品5台)



運転台継電器盤設置場所



運転台継電器盤(設置状態)

(2) 前年度から変更・見直した点)

脱着作業を直営とし、脱着契約をなくしました。

令和2年度に予定していた12編成を、脱線事故に伴い11編成とし、予備品数を変更しました。

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)

現場の意見

(4) 除却資産の有無)

有
 無

(5) 補助対象の有無)

有
 無

(6) 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	3,668	23,757	18,274	10,965		56,664
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
7 10000形機器更新	2,422,334

(1) 事業目的・内容)

①劣化対策

10000形1次車は平成20年の竣工から10年が経過しており、各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため、列車の安全運行のためには搭載機器の更新は必須となります。

②6両化準備対応

令和4年度からの10000形車両6両化において、増備する中間車両に搭載する機器の中には、現在車両に搭載されている機器と編成内で混在できない物があります。そのため、あらかじめ本事業で既存車の機器を、増備する予定の中間車と同一の物に更新しておく必要があります。

③バリアフリー対応

平成30年3月に、公共交通機関を利用する高齢者や障害者等の利便性、快適性に配慮する場合の施設、車両等の整備のあり方を示した

”公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン(バリアフリー整備ガイドライン)”が改訂されました。新しいガイドラインへの適合を始めとしたバリアフリー対応によるお客様満足度向上を目的として、電気品及び内装品の改修を行います。

④インバウンド対応

インバウンド対応として、車内案内表示器の表示内容のうち駅ナンバーや他社線記号の追加、英語表記の見直し等を見直します。

⑤更新計画<6ヶ年契約>

形式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1次車 更新機器1式		9編成	6編成			
2次車 ITV・主幹制御器			1編成	1編成		
1次車 YTM9編成分後ろ倒し				3編成	2編成	4編成

⑥主な更新機器

- ・VVVF(主回路制御装置)
- ・SIV(補助電源装置)
- ・ATC(自動列車制御装置)
- ・ATO(自動列車運転装置)
- ・ブレーキ電気品
- ・YTM(列車制御管理装置)
- ・車内案内表示装置
- ・車外案内表示装置
- ・ITV(対列車画像伝送装置)

(2) 前年度から変更・見直した点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

- 有
 無

(5) 補助対象の有無)

- 有
 無

(6) 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費		2,422,334	1,709,349	205,719	357,348	4,694,750
債務負担設定	5,805,741					5,805,741

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
8 グリーンライン車両管理システム更新	122,205

(1) 事業目的・内容

川和車両基地に設置してあります車両管理システムは、グリーンライン車両の検査計画の作成、検査データの収集、検査記録表の出力、車両図面のデータ管理等多岐にわたり使用しており、検修区日常業務及びグリーンラインの日々の運行に非常に重要な役割を果たしております。本システムは、グリーンライン開業時から使用しており、コンピュータ(サーバークライアント)システムで24時間稼働しているため、機器の劣化が進んでおり故障頻度も多くなっております。また、保守対応期間も令和2年までとなっており、これ以降は修理が不可能となります。さらにグリーンラインは6両化工事が決定しておりますので、本システムも6両化に対応するため改修が必要となります。そこで機器の更新時期とも重なりますので、本システムの全面更新を行います。



車両管理システム(川和検修区事務室)

(2) 前年度から変更・見直した点

執行予定概算金額に合わせ、年度別事業費を見直しました。

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

故障頻度の上昇による更新希望が現場からあがっております。また、グリーンライン6両化に伴う改良が必須となります。

(4) 除却資産の有無)

<input checked="" type="checkbox"/> 有	2007-20-01879	2007-20-01905
<input type="checkbox"/> 無	2007-20-01901	2007-20-02021
	2007-20-01902	2007-20-02022
	2007-20-01903	2007-20-02023
	2007-20-01904	2007-20-02024

(5) 補助対象の有無)

有
 無

(6) 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費		122,205	57,188	10,607		190,000
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
9 グリーンライン検査線増設設計業務委託	

(1) 事業目的・内容)

1 概要

グリーンラインは開業から10年が経ちました。今後、老朽化に伴う大規模な車両改良や、6両化に伴う中間車両新造と検修庫増築工事が予定されているため、検査線の増設が必要です。

2 検査線利用の課題

検査線では法律に基づく検査(月検査・列車検査)を定期的に行っています。検査業務以外の故障対応・機器更新・臨時検査は、検査線が空いている日に行う必要があります。平成29年度の実績では、検査線未使用日は、1か月あたり合計10日間、連続2日と少なく、以下の課題があります。

- (1) 車両改良が土日限定となる
- (2) 突発的な故障対応・緊急点検の遅延
- (3) 将来的な検修庫の大規模修繕が行えない
- (4) 車両の大規模改修時には、連日の残業対応となる

3 検査線利用の課題

検査線の増設に必要な工事は以下となります。以下の項目について、令和元年度は詳細設計を行います。

- ①車両設備(昇降台、LIMギャップ装置、ワイパー点検台)
- ②建築設備
- ③施設設備(レール、掘削)
- ④電力設備(検車庫までの電柱、架線)
- ⑤信号設備(ポイント追加、ATC/地上連動装置改修)

(2) 前年度から変更・見直した点)

昨年度、予算時に基本設計費の計上がなく、また、実施設計費は令和2年度にもかかるため、予算を見直しております。

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

現場の要望

(4) 除却資産の有無)

- 有
 無

(5) 補助対象の有無)

- 有
 無

(6) 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	36,000					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
--------	--------

11 脱線復旧機材購入

(1 事業目的・内容)

令和元年6月 下飯田にて脱線事故、8月 踊場にてオーバーラン事故があり脱線復旧作業を行いました。深く沈み込んだ車両のジャッキアップがジャッキのストローク不足で困難であったことや、狭い作業場で安全確保するためバラスト上に設置する土台の枕木が足りなくなりました。このため今後の備えとして不足している機材が必要となります。

停電時や雪害時、大規模事故を想定した機材を購入します。



(2 前年度から変更・見直した点)

新規案件

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
12 車両移動機購入	

(1 事業目的・内容)

車両移動機とは、列車をき電せずに移動させるための保守機械であり、川和検修区では1台の車両移動機を保有しています。この車両移動機は開業から10年以上が経過し走行装置に経年劣化が発生していますが、過大な線路抵抗を持つ川和車両基地留置線のカーブ区間及び分岐区間で列車を牽引すると、本来5km/h程度は出るはずの速度が1km/hしか出ず、エンジンに大きな負荷が掛かりストールしてしまう可能性があります。今後経年劣化が進みエンジンの出力が低下すると、車両の牽引中にこれらの区間で車両が停止してしまい、留置線内に立ち往生してしまう危険性があります。

よって、経年劣化対策及び現在から将来にかけて基地内の列車移動を円滑行うために、出力に余裕を持った車両移動機を購入します。



車両移動機

(2 前年度から変更・見直した点)
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
13 3000NRS形画像伝送装置ミリ波受信装置更新	

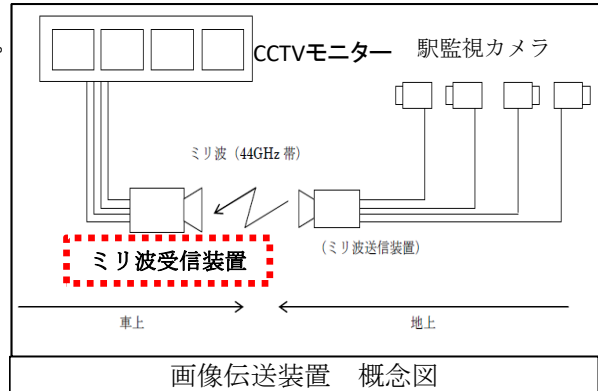
(1 事業目的・内容)

画像伝送装置は、運転士の扉開閉操作に際して、乗降客の安全を確保するため、ホーム画像を乗務員室に設置されたCCTVモニターに表示するシステムです。乗務員の扉開閉操作時における安全確認のために常に安定した性能・動作を求められる重要なシステムです。画像伝送装置を導入してから約10年が経過し、電子機器部品の劣化が進行する時期となったため改修するものです。

※ミリ波受信装置の製造メーカーの推奨交換周期(10年)

【更新計画】

令和2～5年度の4か年で装置の更新を行います。



<4か年契約の1年目>

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
数 量	3編成				

(更新対象車両:3000NRS形車両27編成+予備品1編成(令和2年度納品))

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～令和10年度)

現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
14 主電動機無負荷回転試験電源盤工事	

(1 事業目的・内容)

主電動機無負荷回転試験電源盤は、車両を動かす主電動機について、負荷を与えることなく回転試験を行うことのできる装置であり、ブルーライン車両の全重要部検査入場時に主電動機の整備・検査で使用しています。整備・検査については、横浜市高速鉄道実施基準及び整備要領に基づき実施されていますので、本装置が使用出来なくなると、法令で定められている、全重要部検査の出場が出来なくなる恐れがあります。

上永谷車両基地修繕工場内に設置している本装置は、3000V形以外の全BL車両の主電動機に対応していますが、製作から約26年経過しており、平成30年10月から故障による動作不良となっています。装置の部品の中には製造中止のため再設計が必要なものもあります。

更新することで、3000V形車両に搭載されている主電動機にも対応可能となります。

以上により、主電動機無負荷回転試験電源盤を更新します。

なお、施工までの主電動機の試験は、持ち出し整備で対応します。



上永谷修繕工場設置の主電動機無負荷回転試験電源盤

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道実施基準及び整備要領に準ずる。

(4 除却資産の有無)

有 1992-20-00466 1992-20-00941
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
15 3000R形VVVF制御装置更新	10,388

(1 事業目的・内容)

VVVF制御装置は、電車に搭載したモータを制御するもので、電車の走行及び減速には必要不可欠な装置です。

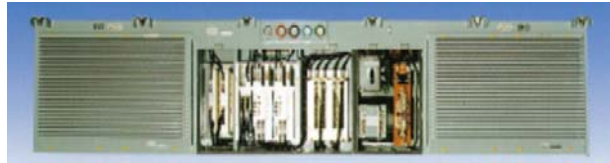
3000R形車両のVVVF制御装置は、平成16年の製造から11年を経過しています。3000R型と同様のVVVF制御装置を搭載している3000N形では、製造後10年を経過したあたりから経年劣化によるVVVF制御装置の故障が増加しました。そこで、故障を予防するために、装置内部に搭載された電子回路や遮断器等の更新を行います。

また、本更新時には装置の重要な構成部品であるパワーデバイスを従来のシリコン製からシリコンカーバイド(SiC)製のものに変更します。これはシリコン製デバイスの生産終了によるものですが、SiC素子は省エネルギー性に優れているため、従来より消費電力を低減させることが可能です。本事業は省エネの効果があるため、条件が整えばエコレールラインプロジェクトにも応募する方針です。

この改良実施により、故障抑止に効果があり、3000N形と比較して故障発生が減少すると考えます。また、車両の消費電力も低減すると考えます。

更新計画<4か年契約、1年延長>

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
数量	5編成	2編成	4編成



(工程概要)

平成28年度 契約(交換する装置の製造に約1年必要)

平成29年度 3編成の更新

平成30年度 5編成の更新

令和元年度 2編成の更新

令和2年度 4編成の更新

(2 前年度から変更・見直した点)

衝突事故のため、令和元年度6編成を予定していた更新を2編成とし、残り4編成を令和2年度に実施します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	560,880	10,388				1,353,102
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	3,648,447	2,696,053	952,394

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 サードレール脱落防止対策	

(1 事業目的・内容)

サードレール(給電用レール)に脱落防止器具等を取付け、耐震対策を行います。

サードレールは、走行レールの横に位置し、電車へ電気を供給するためのレールの事です。サードレールは、碍子の上でレールの自重で支持されています。通常、列車の走行や、軽微な揺れでサードレールが碍子より脱落することは無いよう安全に設計されています。

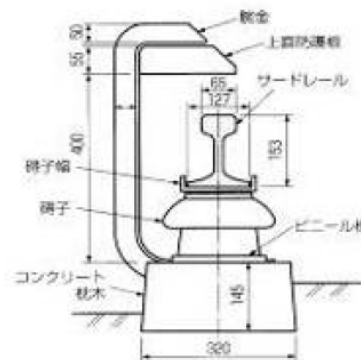
しかしながら、大きな揺れを伴う大地震が発生した場合は、高架橋部分において、サードレールに左右の揺れが発生し、転倒してしまう可能性があります。特に複数の地点で転倒が発生してしまうと、サードレールを復旧するまでの間、列車の運行に遅れが生じます。

そこで、サードレールの脱落防止策を検討し、脱落防止器具を取り付ける等の対策を行い、耐震性能の向上を図ります。

高架部



サードレール構造図



	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
区間	仲町台～センター南駅	北新横浜～あざみ野 除く左記区間	湘南台～立場	
脱落防止器具 取付か所	32か所	約 80か所		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	67,320					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

2 関内駅防災設備更新工事

(1 事業目的・内容)

関内駅の自動火災報知設備を更新します。

関内駅の自動火災報知設備は、設置から20年以上が経過し老朽化が進行しているため、修理が必要となる場合があります。しかし修理部品の流通も少なくなっており、故障が発生してしまうと修理に時間を要す懸念があります。

一方、関内駅の建築・機械・電気設備等についても老朽化が進行し、改良や更新が必要な状況です。また構築についても様々な場所から発生している漏水の補修やさらなる耐震性の向上を目的とした工事が実施されています。

これら様々な課題を解決するため、関内駅の大規模改良工事を29年度から3か年計画で実施しています。そのため自動火災報知設備についても大規模改良工事に合わせ安全かつ効率的に更新し、駅の防災機能を維持・向上させることとします。

●自動火災報知設備について

居室等に設置されている感知器が熱や煙を感知し、受信機に火災信号などを送り知らせます。また受信機は警報を発生し、火災地区を表示し地区ベルなどを鳴動させ建物内に居る人に火災の発生を知らせる設備です。設備は、受信機・発信機・中継器・表示灯・地区音響装置・感知器などの機器から構成されます。また受信機の更新時期は設置から、20年とされています。(メーカー工業会の推奨)

▼設備の現状



■自動火災報知設備



■防犯モニター、非常放送機



▼改修イメージ



■自動火災報知設備ほか集約された防災設備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

●根拠条例(設置基準)

消防法第17条、消防法施行令第21条、その他、横浜市火災予防条例第51条等、防火対象物の用途・規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

■ 有 1976-20-00036 1992-20-00280
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	156,223					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

3 関内駅電気室更新工事

(1 事業目的・内容)

安定した電力を駅に供給する設備である電気室の機能を維持するため、電気室の更新を行います。

関内駅電気室は、昭和50年の設置以来、40年以上稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

一方、関内駅の建築や機械、その他の電気設備についても、老朽化が進んでおり更新が必要な時期となっています。また漏水や構築の耐震補強等の補修も必要な状況にあります。このことから、29年度から3か年計画で駅全体の大規模改良工事に着手しています。

そのため関内駅電気室についても、この大規模改良工事に併せ、効率的かつ安全に更新に着手することとしました。なお更新にあたっては、高効率機器を導入し、省エネルギー化にも取り組むこととします。

▼設備の現状



▼改修イメージ



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 1988-20-00057 1990-20-00012 1994-20-00102
- 無 2005-20-00175 2007-20-00246 2007-20-00517
- 2010-20-00512 2010-20-00516

- 有
- 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	71,540					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

4 照明更新工事

(1 事業目的・内容)

駅照明の消費電力を削減しCO2の排出を抑止することで温暖化対策に寄与することを目的に、23年度から25年度の3か年でブルーライン32駅の直管型40W蛍光灯のLED化を予定通り完了しました。
さらに27年度からは新たな計画を策定し、直管型110W蛍光灯や水銀灯のLED化を駅の改修や老朽化対策等に合わせ実施しています。
以上の計画に基づき、令和2年度は舞岡駅と下永谷駅の照明についてLED更新工事を実施します。

【事業実績】

年度	23年度	24年度	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度(見込)	2年度(予定)
駅数	9駅	12駅	11駅	1駅	4駅	3駅	3駅	1駅	2駅
駅名	湘南台、戸塚 上大岡、関内 横浜、新横浜 センター南 センター北 あざみ野	上永谷、港南中央 弘明寺、吉野町 阪東橋、長者町 桜木町、高島町 三ツ沢下町 三ツ沢上町 片倉町、岸根公園	下飯田、立場 中田、踊場、舞岡 下永谷、蒔田 北新横浜、新羽 仲町台、中川	センター北	弘明寺、桜木町 高島町、横浜	三ツ沢上町 片倉町、岸根公園	三ツ沢下町 仲町台、中川	あざみ野	舞岡、下永谷
本数	2,300本	2,017本	2,054本	365本	896本	1,086本	1,022本	301本	393本
更新内容	40W型蛍光灯をLED灯に更新			110W型蛍光灯や水銀灯をLED灯に更新					

【更新の内訳】

駅名	舞岡	下永谷	計
更新台数(計画)	184本	209本	393本

更新にあたっては、周囲の機器等に影響を与えないか等、安全性などについても調査や確認等も行いながら、導入を進めてまいります。

【更新計画】

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
駅数	2駅	1駅	2駅	5駅
駅名	舞岡駅、下永谷駅	新羽駅	湘南台駅、立場駅	下飯田駅、中田駅、踊場駅、蒔田駅、北新横浜駅

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	35,648					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
5 送電線更新工事	

(1 事業目的・内容)

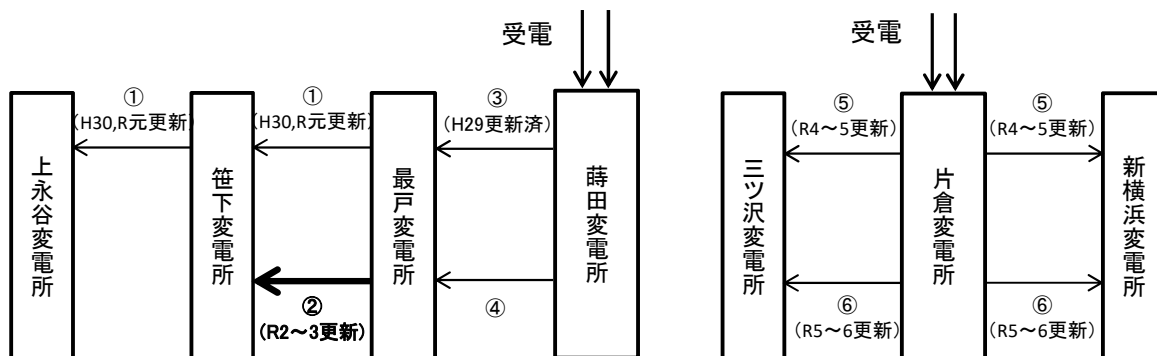
送電線は、電力会社より買電している当局の受電変電所から、き電変電所へ電気を供給するための電力ケーブルです。

2年度から更新の送電線は敷設・運用から、42年が経過しており、ケーブルの信頼性が低下しつつあると考えられます。そのため安定した電力供給の維持を目的に、更新計画に基づき、送電線の更新を実施します。

工事の大半は夜間の軌道内を占有する工事のため、関係箇所との調整を密にし工事を行う必要があります。また送電線の切替時には、電気を供給している他の変電所の運転に影響を与えないよう慎重に切替を実施し、安全に工事を進捗させ、完成させます。

★更新計画

	区 間	亘長	設置	経過年数	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
①	最戸～上永谷(上り)	3900	1975	44			●	●						
②	最戸～笹下	2300	1977	42					●	●				
③	蒔田～最戸(下り)	3100	1971	2	●	●								
④	蒔田～最戸(上り)	3000	1974	45	●	●								
⑤	三ツ沢～新横(上り)	5800	1984	35							●	●		
⑥	三ツ沢～新横(上り)	5800	1984	35									●	●



★ケーブル更新の目安

日本電線工業会 技資第107号	10～20年
交通局	40年

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	200,000					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
--------	--------

6 高圧配電線更新工事

(1 事業目的・内容)

【工事の目的】

高圧配電線(ケーブル)は、当局の付帯変電所から、各駅の電気室へ電気を供給するための電力ケーブルです。
2年度から更新の高圧配電線は敷設・運用から、42年が経過しており、ケーブルの信頼性が低下しつつあると考えられます。そのため安定した電力供給の維持を目的に、更新計画に基づき更新を実施します。

【課題】

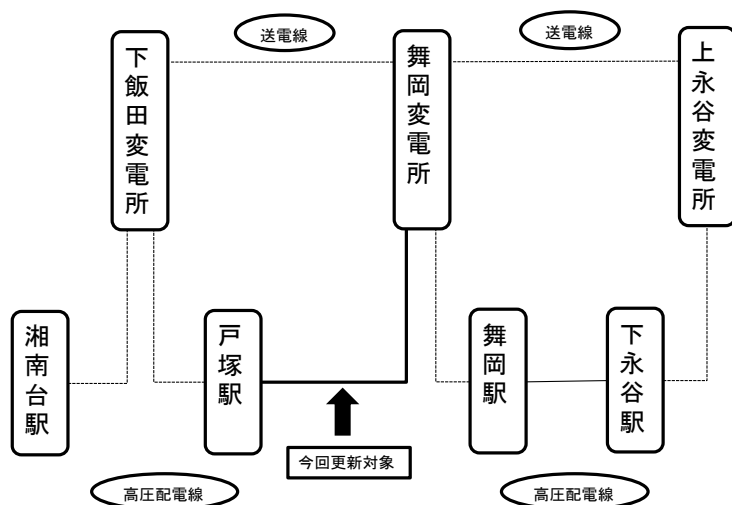
工事の大半は夜間の軌道内を占有する工事のため、関係箇所との調整を密にし工事を行う必要があります。また高圧配電線の切替時には、電気を供給している駅に影響を与えないよう慎重に切替を実施し、安全に工事を進捗させ、完成させます。

★更新計画

区 間	亘長	設置	経過年数	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
舞岡S/S～戸塚E/R(上り)	1400	1977	42	●	●					
舞岡S/S～戸塚E/R(下り)	1400	1977	42	●	●					
片倉S/S～横浜E/R	9000	1984	35			●	●	●	●	
片倉S/S～新横浜S/S	6000	1984	35			●	●	●	●	
舞岡S/S～上永谷E/R	4400	1984	35							●

★ケーブル更新の目安

日本電線工業会 技資第107号	10～20年
交通局	40年



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

7 伊勢佐木長者町駅電気室更新工事

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの電気室は駅の大規模改修に合わせて設備更新を実施してきましたが、設備の老朽化により機器の更新が必要とされる電気室のうち、竣工から40年以上が経過した電気室について、安定した電力を駅に供給する設備である電気室の機能を維持するため、電気室の更新を行います。

伊勢佐木長者町駅電気室は、昭和47年の開業以来、47年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

また、電気室で使用している変圧器についてはPCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限（令和8年度末）までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要があります。

このことから伊勢佐木長者町駅電気室について、機器更新に着手することとしました。なお更新にあたっては、安全に配慮し、高効率機器を導入し、省エネルギー化にも取り組むこととします。

基本設計 ●—●—●—
実施設計 ●——●——
工事 ●●●●●●●●

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
伊勢佐木長者町駅	1972	47		●——●——	●●●●●●●●					

▼設備の現状



▼改修イメージ



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有 1972-20-00020 2005-20-00167
- 無 1990-20-00056
- 1992-20-00072
- 1992-20-00235
- 1992-20-00258

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	28,620					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
--------	--------

8 横浜駅電気室更新工事(基本・実施設計)

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための実施設計について、設計を委託します。

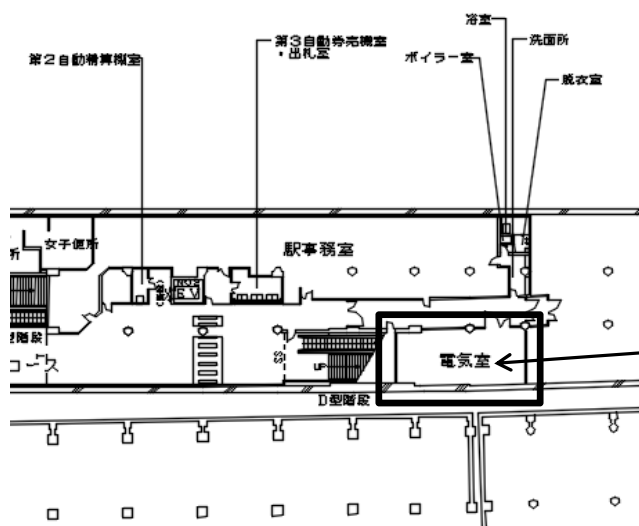
ブルーラインの電気室は駅の大規模改修に合わせて設備更新を実施してきましたが、設備の老朽化により機器の更新が必要とされる電気室のうち、駅の大規模改修の予定がなく竣工から40年以上が経過した電気室について、機器更新の実施設計を委託し、更新を進めていきます。

基本設計 ●- - - ●
実施設計 ●- - ●- - ●
工事 ●●●●●●

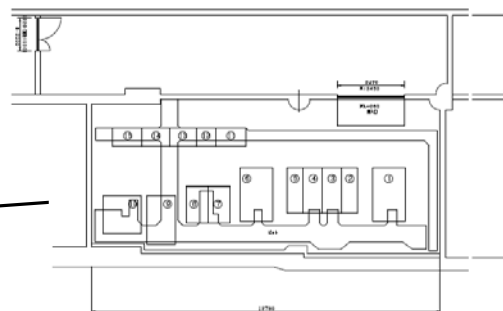
★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
横浜駅	1975	44			●- - - ●	●- - ●- - ●	●●●●●●			

横浜駅B2F



横浜駅電気室



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	14,702					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
9 防災設備更新工事	

(1 事業目的・内容)

戸塚駅の自動火災報知設備の更新を行います。
 戸塚駅の自動火災報知設備は、設置から30年以上が経過し、修理に必要な部品の入手が困難となっており、一旦故障が発生してしまうと修理対応に時間を要する懸念があります。そのため受信機を更新し、安全性の維持に努めます。

	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
対象駅	舞岡 (経年32)	下永谷 (経年31)	上大岡 (経年23)	戸塚 (経年33)	—
	立場 (経年16)	片倉町 (経年31)	—	—	—
	踊場 (経年16)	—	—	—	—

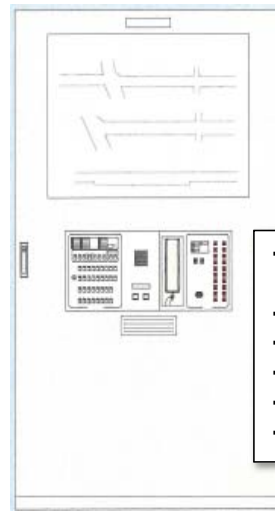
●自動火災報知設備について

居室等に設置されている感知器が熱や煙を感知し、受信機に火災信号などを送り知らせます。また受信機は警報を発生し、火災地区を表示し地区ベルなどを鳴動させ建物内に居る人に火災の発生を知らせる設備です。設備は、受信機・発信機・中継器・表示灯・地区音響装置・感知器などの機器から構成されます。

▼設備の現状



▼地図式受信機【改修イメージ】



- ・基本盤寸法
W1200 H2000 D400
- ・自立型
- ・平面地図表示式
- ・非常電話親機
- ・非常電話制御部
- ・排煙区画連動スイッチ

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

●根拠条例(設置基準)

消防法第17条、消防法施行令第21条、その他、横浜市火災予防条例第51条等、防火対象物の用途・規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	26,814					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

10 上永谷車両基地開閉器更新

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地の検車庫用直流開閉器盤及び現地操作盤の更新を行います。
 上永谷車両基地検車庫用直流開閉器盤(以下、C盤)及び現地操作盤(以下G盤)は、昭和52年に設置されました。現在、42年経過しており、劣化が進行しています。また修理に必要な補修部品等も既に生産が中止されており、故障等の不具合が発生した場合に修理対応に多くの時間を要してしまう状況です。
 そのため、特に劣化が進んでいる盤から順次更新を実施します。

【主な不具合】

- 経年老朽化による本体の発錆や腐食
- 可動部の動作不具
- スイッチの接触不良

今後の直流開閉器盤更新スケジュール

	令和2年度	3年度	4年度	計
C盤	7面			
G盤	5面			
MC盤※	0面			

※MC盤:C盤に電源を送るための直流開閉器盤

【C盤について】

上永谷車両基地には、車両を点検するための点検線があります。点検線内には、点検中の列車に直流750Vを送るための「栓受」と呼ばれる設備があります。

C盤は、「栓受」の直流750Vを開閉するための直流開閉器盤で、電磁接触器1台で構成されています。

【G盤について】

G盤は、C盤に収納されている電磁接触器を遠方の点検線で開閉操作するための現地操作スイッチ盤です。

▼直流開閉器盤(C盤)



▼現地操作盤(G盤)



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

- 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	18,000					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

11 三ツ沢変電所機器更新工事

(1 事業目的・内容)

使用開始から30年以上が経過し、機器の劣化が進行している変電所機器の更新を計画的に実施し、機器の信頼性を向上させ、安全の確保を図ります。

変電所機器の耐用年数は日本電機工業会の推奨によると20年から25年程度とされています。交通局では定期的な点検および部品交換を行い機器の延命化を図っています。機器更新時期は30年以上が経過した機器に対して部品供給の可否や劣化状況より更新時期を判断し、概ね35年程度で変電所機器の全面更新を行っています。

【設備の現状】



【事業計画】

	30年度	令和元年度	令和2年度
基本設計			
詳細設計	-----		
仕様調整		=====	
機器製作		=====	=====
据付配線工事		=====	=====

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 1984-20-00372,00440,00443 1995-20-00151
- 無 1997-20-00095,00096 1998-20-00147
- 2002-20-00216,00229, 00230,00231,00384
- 2007-20-00520, 00532,00534,00535,00536

- 有
- 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	324,000					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

12 三ツ沢変電所機器更新工事に伴う電線路工事ほか

(1 事業目的・内容)

三ツ沢変電所の受変電機器は、使用開始から30年以上が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となっているため、全面的な機器更新を実施し、安全性の向上を図ります。

上記変電所の全面的な機器更新に伴い、機器配置や内容の変更、ケーブルの劣化などがあるため、き電線路の張り替え、電力管理システムの改修を実施します。

設備概要

設備名	設備概要	更新内容
き電線路	電車が走るのに必要な電源を供給するためのケーブル	変電所からサードレールをつなぐケーブル(正き電線) 走行レールから変電所までをつなぐケーブル(負き電線)
電力管理システム	変電所の機器状態、故障情報、電力量データ等を収集し、それぞれの状態表示や機器の操作をすることができる設備	遠制御装置(子局)の更新 変電所の機器状態、故障情報、電力量管理を更新後の機器に対応させる

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 1984-20-00372 1984-20-00443
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	97,200					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
--------	--------

13 最戸変電所非常用発電機更新工事

(1 事業目的・内容)

最戸変電所の非常用発電機は昭和47年度の開業以来、使用開始から45年以上が経過し機器の劣化が進行し、製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。非常用発電機は、災害等で電力会社からの電気の供給が止まってしまった場合でも、駅の重要負荷に電気を供給することができます。非常用発電機の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、変電所内の換気状況も見直すため、換気設備や電力管理システム改修等も併せて実施します。

【事業計画】

件 名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	詳細設計	契約・機器製作	機器作製・工事
最戸変電所非常用発電機更新	■■■■	■■■■	■■■■
最戸変電所換気設備更新	■■■■	■■■■	■■■■
最戸変電所電力管理システム改修	■■■■	■■■■	■■■■



非常用発電機



換気設備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	23,831	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
債務負担設定		■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
14 片倉変電所機器更新工事	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

片倉変電所は昭和60年度の開業以来、使用開始から30年以上が経過し機器の劣化が進行し、製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため非常用発電設備、換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム改修等の改修も併せて実施します。

【事業計画】

件 名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	基本・詳細設計	契約・機器製	機器製作・工事	機器製作・工事	工事
片倉変電所機器更新	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
片倉変電所電線路改修工事	■■■■■		■■■■■	■■■■■	■■■■■
片倉変電所電力管理システム変更					■■■■■



66kV 特別高圧受電設備



直流き電設備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	75,321	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

16 舞岡変電所更新工事(基本・実施設計)

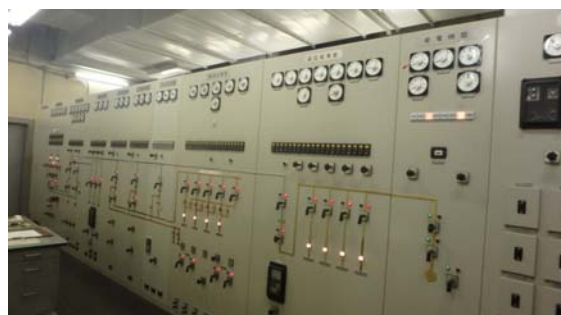
(1 事業目的・内容)

舞岡変電所の機器を更新するための基本設計及び実施設計を委託します。

舞岡変電所に設置されている変電機器は更新時期を迎えおり、更新にあたっては変電機器(非常用発電機含む)、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備の仕様の見直しを検討する必要があるため、基本計画について、基本・実施設計を委託します。



66kV 特別高圧受電設備



主配盤設備

【事業計画】

件 名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	-	基本設計・実施設計		工事契約
舞岡変電所機器更新		●————●	●————●	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
17 新横浜変電所更新工事(基本・実施設計)	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

新横浜変電所の機器を更新するための基本設計及び実施設計を委託します。

新横浜変電所に設置されている変電機器は更新時期を迎えおり、変電機器、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備の仕様の見直しを検討する必要があるため、基本計画について、基本・実施設計を委託します。



主配盤設備



22kV/595V変圧器及び整流器

【事業計画】

件名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	-	基本設計・実施設計		工事契約
新横浜変電所機器更新		●—————●		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
18 モーターカー更新	

(1) 事業目的・内容

○工事用モーターカーの更新を計画します。

更新を検討している工事用モーターカーは、製造から21年が経過(1998年製造)し、修理部品の入手が困難になっています。そのため、経年故障の修理対応に苦慮することや、修理期間中はモーターカーが使用できないため、工事時期にも支障を及ぼすなどの問題が生じます。

一方、地下鉄の電気、信号、通信や機械を始めとする様々な設備の老朽化も進行しており、更新工事が不可欠な状況となっています。地下鉄のトンネル内や駅構内の設備を更新する場合、設備の設置場所上、モーターカーでの運搬・作業が必要になります。そのためにもモーターカーの健全性確保が課題となっています。この課題を解決するためにモーターカーを更新し、安全で効率的な更新工事や緊急・災害時の機動力確保を維持します。



工事用モーターカー (1998年製)



参考：ブルーラインで導入したモーターカー

R2年度対象

更新年度	MC配置場所	用途	仕様	型式
R2	新羽	工所用	トルコン	WD-H8C

ブルーライン更新計画

配置場所	用途	製造年度	更新
上永谷	電力保守	平成10年度	令和3年度予定
	信通保守	平成10年度	令和4年度予定
	工事・保守用	平成28年度	済
新羽	電力保守	平成4年度	令和元年度予定
	信通保守	平成30年度	済
	工事・保守用	平成10年度	令和2年度予定

○モーターカーが必要な更新工事・保守作業

・ケーブル更新工事

・信号保安装置更新工事

・ATC受信レベル測定作業

・列車通信線、列車無線装置点検

・列車接近警報装置、沿線電話点検

・サードレール、碍子交換作業

・ずい道内ランプ交換作業

・その他、資材運搬 ……など

【課題・目標】

・外観の状態は良好。制動部や油圧系統の老朽化が著しく、修理が増加傾向にある。

・製造から21年を経過し、補修用部品の入手が困難な状況にある。

・保守作業にも流用可能な仕様にし、保守車両と統合させより効率的な運用を目指す。

以上の課題を解決するためにモーターカーを更新し、安全で効率的な工事・保守作業を継続させます。

(2) 前年度から変更・見直した点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

■ 有 1999-20-01671、1999-20-01675

□ 無

□ 有

■ 無

(6) 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	42,108					
債務負担設定	49,808					49,808

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

19 上永谷車両基地照明更新工事

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地構内にあるコンクリート柱の上の水銀灯を、LED投光器に更新を行います。

上永谷車両基地構内は、夜間の作業員の視界確保と防犯のために水銀灯をコンクリート柱上に取り付け、構内を明るく照らしています。

コンクリート柱上の照明器具は、設置から30年以上経過しています。また、コンクリート柱の上に取り付けられているため、管球の交換をしにくいという欠点があります。

以上の点から、水銀灯をLED投光器に更新します。更新を行うと、消費電力が削減されるだけでなく、管球交換が不要になり、夜間の作業員の視界確保し及び防犯性能が向上されます。

また、水銀灯の管球を交換するための足場について、金属の劣化が進んでいるため、撤去し照明器具用のブラケットを取り付ける設計委託を来年度の上半期に発注します。

【交換対象】… 1000W水銀灯 15台 400W水銀灯 18台



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
20 信号設備ユニット類更新作業	231,000

(1 事業目的・内容)

①電子連動装置

信号保安設備の一つである電子連動装置は、進路の構成や転てつ機の鎖錠など、停車場において列車の安全運行を確保するための装置です。

今回更新する関内及び伊勢佐木長者町停車場の電子連動装置は、設置後約14年(2006年5月設置)が経過しており、電子連動装置の主要構成部品である各ユニットのコンデンサー、継電器その他の経年劣化部品(期待寿命10年)の更新を行うことで、信号保安設備の故障の未然防止および延命化を図ります。

②ATC装置

信号保安設備の一つであるATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置です。

今回更新する関内停車場のATC装置は、設置後約14年(2006年5月)が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、ローターリースイッチ、電源コンバータ、継電器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

③信号モニタ装置

信号設備の一つである信号モニタ装置は、ATC装置や連動装置など各信号設備の状態を監視して故障や異常を表示するとともに、各信号設備の動作を記録して動作の解析や障害発生時の調査をおこなうためのモニタ装置です。

今回更新する関内停車場の信号モニタ装置は、設置後約14年(2006年5月)が経過しており、信号モニタ装置の主要構成部品であるファクトリーコンピュータはすでにメーカーのサポート期間も切れて交換部品が入手できず、修理ができない状態です。したがって、ファクトリーコンピュータや経年劣化部品(期待寿命10年)であるスイッチング電源や通信機器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

R1年度 関内・伊勢佐木長者町信号機器室(2006年5月=約13年)

R2年度 関内・伊勢佐木長者町信号機器室

R3年度 横浜信号機器室(2007年3月=約14年)

R4年度 上永谷信号機器室、上永谷車両基地試運転線ATC装置(2010年3月=約13年)

R5年度 なし

R6年度 なし

○関内・伊勢佐木長者町停車場 内訳

項 目	数 量	要 求 額
電子連動装置部品類交換	一式	72,700
ATC装置部品類交換	一式	111,110
信号モニタ装置部品類交換	一式	20,532
経費		5,658
小計		210,000
消費税(10%)		21,000
計		231,000

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	関内・長者町		横浜		上永谷		総 額
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降		
事業費		231,000					
債務負担設定	281,481						281,481

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
----------	--------

21 信号電源装置ユニット類更新作業

(1 事業目的・内容)

信号電源装置は、信号保安設備である連動装置、ATC装置、CTC装置、転つ装置、信号装置などに安定した電力を供給して、列車運行の安全を確保するための装置です。

横浜停車場の信号電源装置は、設置から約13年(2006年5月設置)が経過するため、ユニット類、コンデンサ、スイッチング回路などの経年劣化により故障が発生しやすい(期待寿命約10年)部品を更新し、故障の未然防止および信号保安設備の機能維持を図ります。

R1年度 関内・伊勢佐木長者町信号機器室(2006年5月＝約13年)

R2年度 横浜信号機器室(2007年3月＝約13年)

R3年度 なし

R4年度 上永谷信号機器室(2010年3月＝約13年)

R5年度 なし

R6年度 なし

○横浜停車場 内訳

項 目	数 量	要求額
部品類交換	一 式	
経費	一 式	
小計		
消費税(10%)		
計		

(2 前年度から変更・見直した点)

○R1年度の関内・伊勢佐木長者町停車場と同様の更新です。

○更新計画に基づき、本体装置の更新予定年数(約20～25年)の1/2を目処に部品交換を実施します。

○コンデンサーの更新においては、従来型(期待寿命約5～7年)ではなく長寿命型(期待寿命約7～10年)を採用します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	関内・長者町		横浜		上永谷		総 額
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降		
事業費	34,261						
債務負担設定							

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

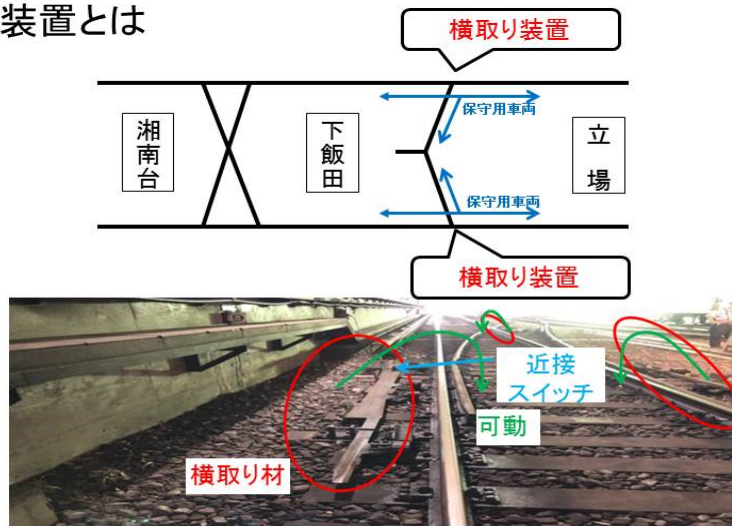
【事業内容】	2年度予算額
23 横取り装置改修	114,017

(1 事業目的・内容)

ブルーライン下飯田での事故に対する安全対策としてハード面の改修を行います。
 ・横取り装置を使用している時に、横取り装置使用中である事を注意喚起する警報が止まらない構造に横取り装置を改修します。
 ・横取り装置使用時には警報出力だけではなく、列車・車両に対して信号を送信している自動列車制御装置(ATC装置)を改修して停止信号を現示するようにします。停止信号を受信した列車・車両は自動で停車します。
 上記2点の改修により列車・車両に対する安全対策を強化します。

横取り装置改修箇所	上下線 立場～下飯田	下り線 関内～桜木町	上下線 三ツ沢上町～片倉	中線 センター北	中線 GLセンター北
ATC装置改修箇所	湘南台 信号機器室	関内 信号機器室	新横浜 信号機器室	センター北 信号機器室	GLセンター北 信号機器室

横取り装置とは



横取り装置とは、3か所ある横取り材を手動で操作する事によって保守用車両を本線と留置線との間の移動に分岐器の役割をする装置です。3か所ある横取り材のうち1か所でも扱うと装置の動作中を表す警告灯の点滅、ブザーの鳴動により接近する保守用車両や列車に知らせて停止を促します。

(2 前年度から変更・見直した点)

○新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「市営地下鉄ブルーライン脱線事故調査報告書」7再発防止策 (2)今後実施する対策 工更なる安全性向上の取り組み

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費		114,017				114,017
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 電気課 担当者名： 藪崎

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
24 ブルーラインオーバーラン対策	0

(1 事業目的・内容)

ブルーライン踊場駅引込線での事故の安全対策としてハードの改修を行います。
 駅構内での車両入換時の運転は運転士による注意運転としています。 万一運転士が停車位置で停車できなかった場合は信号保安装置によるバックアップ機能が働きます。しかし信号保安装置のバックアップ機能が働いても安全に停車する事が出来ない箇所があります。当該か所に車両防護装置を導入する事により運転士がもし停車させなくても安全に車両を停止できるようにします。

(2 前年度から変更・見直した点)

○新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費		0		250,000		250,000
債務負担設定		250,000				250,000

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
25 信号保安装置更新	990,875

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地の信号保安装置(ATC装置、連動装置)は、運用開始後約25年経過しています。

これまでに経年劣化対策として、ATC装置については設置後10年を基準にオーバーホールにより延命化を行い、さらに20年を基準に部分更新を行いました。また、連動装置についても設置後15年を基準に部分更新を行い、これらの取り組みにより重大事故や運行障害に直結する故障の発生はなく、安全性を確保して来ました。

しかし、設置後30年を経過することから、下記の理由により全面更新が必要です。

- ・今後故障の増加が予測されること。
- ・装置を構成する主要部品がすでに製造中止となり、今後の修理対応が困難なこと。
- ・装置内の配線、コネクタ等にも劣化が進んでいること。

更新工事では、信号機器室単位で順次実施し、設備の更新によりお客様の安全輸送を確保します。

平成29・30年度 戸塚・踊場信号機器室 統合化更新予定(設置後32年)
令和元・2年度・3年度 上永谷車両基地信号機器室 全面更新予定(設置後28年)
令和3・4年度 新羽信号機器室 全面更新予定(設置後28年)

信号装置	使用開始	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
戸塚 踊場	S62年5月	工事・撤去				
上永谷 車両基地	H4年2月 部分更新設計	工事	工事	工事・撤去	
新羽	H5年3月		設計	工事	工事・撤去

(2 前年度から変更・見直した点)

当初、R元年度、R2年度の2か年を工期としていたが、3か年へと変更します。(前年度工事が長引いたための設計開始遅れ、オリパラ需要で施工の人員確保できない、オリパラ期間中の工事ができない。)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有 上永谷車両基地信号機器室(R2)
□ 無

(5 補助対象の有無)

- 有
■ 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	301,871	990,875				
債務負担設定	1,527,988					

令和2年度 建設改良費 事業計画書

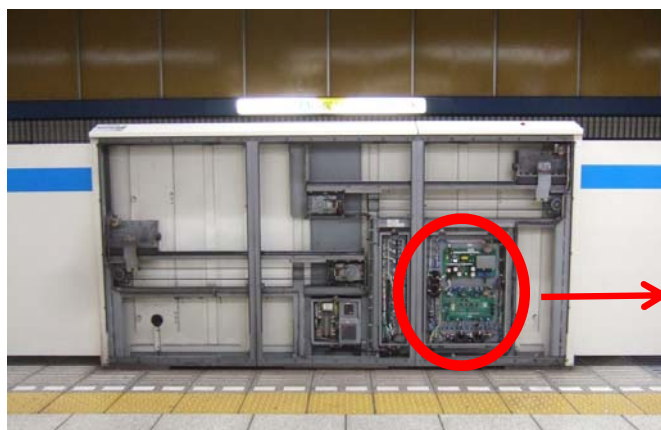
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
26 BLホーム柵延命化のための部分更新	200,566

(1 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また車両の戸挟みによる引きずり事故の防止のため、自動列車運転装置(ATO)を経由して車両と通信し、車両ドアと連動してドア開閉を行う装置です。
ブルーラインの可動式ホーム柵は、平成19年12月に設置開始してから10年が経過し、年に2回点検しながら使用していますが、近年ホーム柵内部の電源基板や制御基板、モータやセンサーなどの故障が発生しはじめています。製造メーカーの推奨では10年で一部の部品交換、20年で部分更新、30年で全面更新であることから、平成30年度より延命化のための部品交換を実施します。部品交換においては、ホーム柵内部などの部品交換に時間がかかることから各機器内の基板類とモータ・センサーの2回に交換作業を分け、さらに32駅を3年に分けて、6年計画で実施します。



ホーム柵内部



ホーム柵内部基板拡大



総合制御盤内部

	作業内容	部品購入数量	作業駅数	備 考
平成30年度	基板類交換	22駅分	6駅	予備品の購入も含む
令和元年度	(電源・制御基板、総合制御盤、駅務室監視盤、駅係員操作盤)	6駅分	16駅	
令和2年度		4駅分	10駅	
令和3年度	モータ・センサー類交換	22駅分	6駅	予備品の購入も含む
令和4年度	(モータ、スイッチ、センサー、タイミングベルト)	6駅分	16駅	
令和5年度		4駅分	10駅	

(2 前年度から変更・見直した点)

3Dセンサの有効性を検証するために1開口のみ3Dセンサを導入予定

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	246,841	200,566				
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
27 GLホーム柵延命化のための部分更新	72,882

(1 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また車両の戸挟みによる引きずり事故の防止のため、自動列車運転装置(ATO)を経由して車両と通信し、車両ドアと連動してドア開閉を行う装置です。

グリーンラインの可動式ホーム柵は、平成20年3月に設置開始してから10年が経過し、年に2回点検しながら使用していますが、近年ホーム柵内部の電源基板や制御基板などの故障が発生しています。製造メーカーの推奨では柵の駆動に関する部品を10年周期、乗務員操作部や管理記録部は15年周期で部品交換、30年で全面更新であることから、令和元年度より延命化のための部品交換を実施します。

10年周期の交換部品においては、制御基板やモーターの特殊部品は納期がかかるため、先行して平成30年度に5駅分の部品を購入します。部品交換作業においては、ホーム柵内部などの部品交換に時間がかかることから10駅を2年に分けて、10年周期および

15年周期の部品交換作業を各2年計画で実施します。



	作業内容	部品購入数量	作業駅数	備考
平成30年度	制御基板、電源部品、駆動部等購入	5駅分	0駅	
令和元年度	制御基板、電源部品、駆動部等購入＋交換作業	5駅分	5駅	10年周期、予備品の購入
令和2年度	交換作業	0駅分	5駅	10年周期
令和3年度	作業なし	0駅分	0駅	
令和4年度	作業なし	0駅分	0駅	
令和5年度	個別操作盤、緊急停止装置等購入＋交換作業	5駅分	5駅	15年周期
令和6年度	個別操作盤、緊急停止装置等購入＋交換作業	5駅分	5駅	15年周期

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	71,557	72,882				
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
28 GL信号保安設備延命化のための部分更新	

(1 事業目的・内容)

グリーンラインの信号保安設備は列車の安全運行を確保するためのATC装置、電子連動装置、PTC装置及び各信号装置の動作を記録して動作の解析を行うための信号モニタ装置等で構成されています。

今回の部分更新では、設置から12年が経過する信号モニタ装置や連動制御盤等で使用されているファクトリーコンピュータ(FAPC)を部分更新します。また、ユニット類のコンデンサやスイッチング回路などの経年劣化により、故障が発生しやすい部品(期待寿命10年)を部品交換します。各種部品交換をすることにより、故障未然防止及び信号保安設備の延命化を図ります。



	対象設備	内容
平成30年度	川和電気区モニタ、基地PRC/連動制御盤等更新	FAPC更新、操作PC更新
令和元年度	センター北機器室、日吉機器室	FAPC更新、電源部品更新
令和2年度	中山機器室、川和町機器室、川和基地機器室	FAPC更新、電源部品更新

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

更新計画に基づき、本体装置の更新予定年数(約20年～25年)の1/2を目途に部品交換を実施します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	112,496					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
29 1・3号線ATO装置ユニット類更新作業	138,793

(1 事業目的・内容)

ATO装置とは、市営地下鉄のワンマン運転を支援するための装置であり、列車の出発ボタン押下で次駅の停止位置まで自動で運転する装置です。

ブルーラインのATO装置は設置後約10年(2008年3月)が経過し、2年に1度メーカーによる点検を行っていますが、制御基板などの主要部品に故障が出ている状況です。製造メーカーの推奨では13年で一部の部品交換、25年で全面更新であることから令和元年度より延命化のための部品交換を行います。

ユニット交換は32駅に加え、車両基地、司令所の部品を交換することから、2年に分けて部品交換を行います。



図1:ATO制御架



図2:ATO装置ユニット部

	作業箇所
令和元年度	あざみ野駅～関内駅の駅舎内および軌道内、総合司令所
令和2年度	伊勢佐木長者町駅～湘南台駅の駅舎内および軌道内、車両基地

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	122,134	138,793				260,927
債務負担設定	173,209					173,209

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 電気課 担当者名： 藪崎

(単位：千円)

【 事業 内 容 】	2年度予算額
30 4号線ATO装置ユニット類更新作業	

(1 事業目的・内容)

ATO装置とは、市営地下鉄のワンマン運転を支援するための装置であり、列車の出発ボタン押下で次駅の停止位置まで自動で運転する装置です。

グリーンラインのATO装置は設置後約10年(2007年12月)が経過し、2年に1度メーカーによる点検を行っていますが、制御基板などの主要部品に故障が出ている状況です。製造メーカーの推奨では13年で一部の部品交換、25年で全面更新であることから令和2年度より延命化のための部品交換を行います。

ユニット交換は10駅に加え、車両基地の部品を交換することから、3年に分けて部品交換を行います。



図1: ATO制御架



図2: ATO装置ユニット部

	作業内容
令和2年度	交換部品製作
令和3年度	交換部品製作、納入
令和4年度	交換作業

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額					
32 グリーンライン検査線増設に伴う電気工事						
(1) 事業目的・内容						
<p>1 概要 グリーンラインは開業から10年が経ちました。今後、老朽化に伴う大規模な車両改良や、6両化に伴う中間車両新造と検修庫増築工事が予定されているため、検査線の増設が必要です。</p> <p>2 検査線利用の課題 検査線では法律に基づく検査(月検査・列車検査)を定期的に行っています。検査業務以外の故障対応・機器更新・臨時検査は、検査線が空いている日に行う必要があります。平成29年度の実績では、検査線未使用日は、1か月あたり合計10日間、連続2日と少なく、以下の課題があります。</p> <p>(1) 車両改良が土日限定となる (2) 突発的な故障対応・緊急点検の遅延 (3) 将来的な検修庫の大規模修繕が行えない (4) 車両の大規模改修時には、連日の残業対応となる</p> <p>3 検査線利用の課題 検査線の増設に必要な電気工事は以下となります。以下の項目について、令和元年度は詳細設計を行います。</p> <p>①電力設備(検車庫までの電柱、架線) ②信号設備(ポイント追加、ATC/地上連動装置改修)</p>						
(2) 前年度から変更・見直した点 新規案件						
(3) 根拠法令・規程、現場の意見等) 現場の要望						
(4) 除却資産の有無)	(5) 補助対象の有無)					
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
(6) 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
33 ITVカメラ設備設置(GL)及びネットワークの増強(BL・GL)	

(1 事業目的・内容)

【長期目標】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像を司令部から監視ができますが、今後はその対象を拡大し、司令部がいち早く駅の状態を把握し、乗務員に的確な指示が出せるよう整備していきます。

【現状課題】

現在設置している「ホーム監視画像伝送装置」は主にネットワークの機器寿命が7年のところ、更新せず10年以上使用しており、監視できなくなってもおかしくない状態です。既設機器の更新及び新たな駅への新設や、既設駅への新規増設等をする費用が高額になります。また、現システム用のカメラはすでに生産中止しておりカメラの購入ができません。構成や設定が一般流通品とは違い、複雑なため直営での対応に限界があります。

【更新内容】

・総合設備ネットワークの増強(BL・GL)

⇒監視装置(カメラ、監視装置)をホーム監視ネットワークから総合設備ネットワークに載せ替えますが、監視装置は伝送容量が大きく、このままでは総合設備ネットワークに載せている他装置に影響を与えてしまいます。そのため、機器を更新して通信速度及び伝送容量を増強します。

・ITVカメラ設備設置(GL)

⇒GLはホーム監視ネットワークから総合設備ネットワークに載せ替えるにはネットワークの構築上、一括で全駅分を更新しなければいけません。また、GLは6両化されるため、監視装置の拡張性を考慮しつつ、あらかじめITV設備を更新します。



駅の状態を、総合設備ネットワークを利用して司令部や駅事務室で監視

更新計画

[千円]

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度以降
カメラ更新・増設	BL 3 駅	—	BL 7 駅	BL 4 駅	残り 18 駅
カメラ更新	—	GL 10 駅	—	—	—
ネットワーク増強		大容量高速化			

(2 前年度から変更・見直した点)

更新内容の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

通信設備更新計画
駅からの要望

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	36,658					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
34 新市庁舎移転	176,715

(1 事業目的・内容)

令和2年度予定されている新市庁舎移転に伴い、電気通信設備等の移設を行います。

主な作業内容

- ・ 鉄道電話設備構築
- ・ ネットワーク設備構築
- ・ 新市庁舎内配線作業
- ・ 関内駅～新市庁舎間ケーブル布設
- ・ バス無線・保守無線構築
- ・ 花咲ビル原状回復 等

内容	工程																						
	R1						R2																
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
関内駅～新市庁舎間 ケーブル敷設																							
新市庁舎内ケーブル敷設																							
鉄道電話構築																							
各種ネットワーク構築																							
無線設備構築																							
花咲ビル原状回復																							

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 2012-20-00072
 無

- 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	77,794	176,715				254,509
債務負担設定	237,215					237,215

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
35 令和2年度 誘導通信線更新工事	

(1 事業目的・内容)

設置から25年経過したあざみ野線(新横浜～あざみ野)の誘導通信線のうち、特に劣化が激しい地上部約12kmについて順次更新を行います。
また、現在使用していない保安電話用のケーブルについても、順次撤去します。

誘導通信線 明かり区間12kmのうちR1年度は3km、R2年度に5kmを更新予定
保安電話用ケーブル 全33kmのうちR1年度は3km、R2年度に7kmを撤去予定

【内訳】

	数量
誘導線更新	5km
保安線撤去	7km
試験調整他	一式



— 誘導通信線
- - - 保安電話

【年次計画】

(単位：km)

年度	元	2	3	合計
誘導線更新	3	5	4	12
保安線撤去	3	7	7	17

(2 前年度から変更・見直した点)

更新範囲の見直し
試験調整費用の計上

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	26,334					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
36 放送装置更新工事(伊勢佐木長者町)	

(1) 事業目的・内容

【目的】

放送設備の機能を維持し、駅の放送業務の改善と旅客サービスの向上を図ります。
老朽化した放送設備では、修理部品が製造中止となり、故障が発生した場合は長時間に渡り駅全体の放送が停止してしまいます。

【目標】

機器の更新について、推奨更新周期が12年です。今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度を目安に更新計画表をもとに更新を行っていきたく考えています。設置から12年以上経過し、軽度な不具合等が出た場合は、部品の交換・修理等することで機器の延命措置を行います。

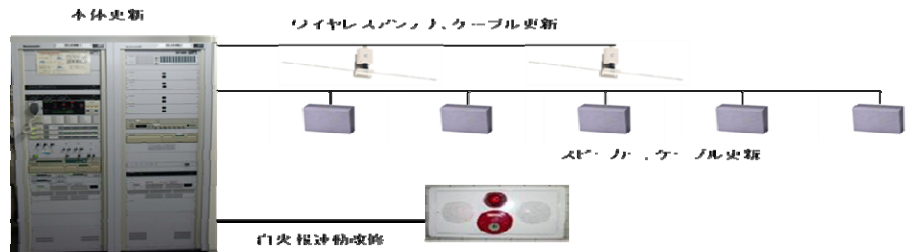
来年度については、設置後19年が経過し更新基準年数を超え、また不具合が多く駅からの更新要望がでている伊勢佐木長者町駅について更新を行います。

現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため、最小限の設備の更新とし、スピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用します。

【用語】

【機器構成】

非常放送機	一式
スピーカー	一式(一部増設)
ワイヤレス機器	一式
自動火災受信盤改造	一式



【内訳】

	機器費	工事費	経費	消費税(10%)	合計
伊勢佐木長者町					
計					

(2) 前年度から変更・見直した点

更新計画に基づき、対象駅を更新

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

消防法および横浜市火災予防条例

(4) 除却資産の有無)

- 有
 無

(5) 補助対象の有無)

- 有
 無

(6) 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	16,038					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 担当者名: 藪崎

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
37 VHF保守用無線更新	

(1 事業目的・内容)

保守用VHF無線局は、保守上の業務連絡に用いるほか、大規模災害発生時などの緊急連絡手段として、総合司令所や各保守管理所に通信所を置くほか、保守管理所の緊急自動車への車載局や携帯局などが配備されています。

- しかし、
 - スプリアス対策の未対応の無線局が2台残っている。
 - 電波法令の改正(※1)により、2台の無線局が令和4年度以降は使用不可。
 - 保守用の携帯無線機も14年経っている。
- 以上のことから、無線局の更新を計画的に進めていきます。



写真例 : 移動局 (車載局 (よこはまこうつう3))

- 令和2年度は、スプリアス未対応の基地局無線機を2台更新します。

※1 平成17年にスプリアス発射の規格が改正され、平成19年11月までに製造された無線機は、令和4年11月まで使用できることとなっています。当局無線機は、免許の日の関係で令和3年5月までとなります。

- 課題
・各保守管理所に配置している携帯局を古い物から順次更新していく。

保守用無線電話装置更新 (実績・予定)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
更新内容	基地局 2局 (上永谷構内、川和構内)	携帯局 10局 (川和構内)	携帯局 8局 (新羽構内)	携帯局 8局 (新羽構内)	携帯局 9局 (上永谷構内)	携帯局 9局 (上永谷構内)

○内訳

項目	数量	要求額
基地用無線局	2局	
AC電源装置	2台	
スタンドマイク	2台	
遠隔制御装置	2台	
消費税(10%)		
計		

- 現況数量
- ・基地局 4局【花咲25W、踊場10W、センター南10W、上永谷基地5W】
- ・移動局 51局
 - (車載11局 (上永谷4局、新羽4局、川和3局)) 【25W、10W】
 - (携帯40局 (上永谷15局、新羽16局、川和6局、花咲3局)) 【5W、1W】

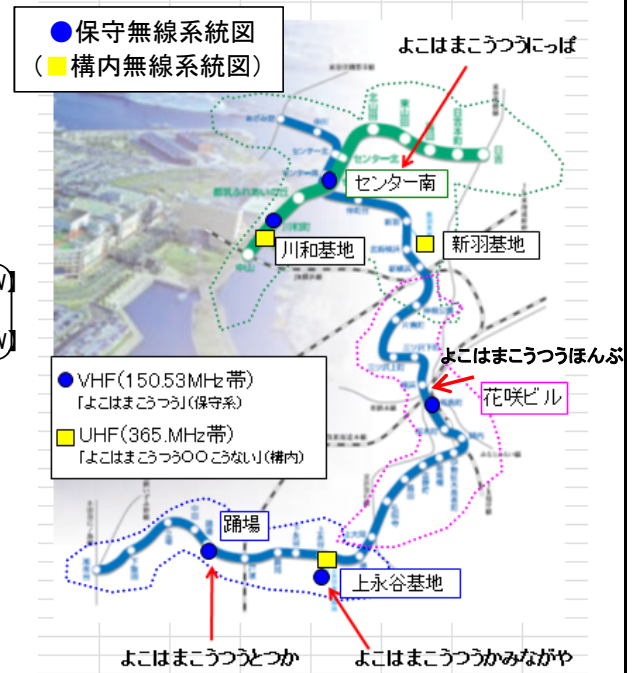
- (2 前年度から変更・見直した点)
今後は、可搬局は導入しない。携帯局をすべて5Wとする。

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)
電波法施行規則第2条
無線設備規則別表第3号

- (4 除却資産の有無)
 有
 無 資産登録なし(該当なし)のため

(5 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						



令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：藪崎

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
38 GTV地上装置更新	

(1 事業目的・内容)

運輸司令にて入力された他社線及び市営地下鉄の運行情報や、花咲ビル設置のメディア編集装置から配信する動画や静止画の各種広告、横浜市や交通局の事業案内、神奈川新聞社から配信されるニュースを、司令所の中央装置において蓄積し、駅に設置された端末装置からミリ波送受信装置により、グリーンラインの車両に伝送し、車内液晶表示器へそれらの情報を表示するための設備です。

本更新は、機器更新時(H25年度・26年度)に対象した機器以外の残りの機器に対し更新を行うものです。

1)GTV地上装置

更新計画

中央装置

平成25年度	平成26年度	令和2年度	令和3年度
1)入稿システム	1)運行情報入力システム	1)GTV地上装置	1)GTV地上装置
2)編集システム	2)運行情報配信システム	中央装置	メディア編集システム
3)配信システム	3)駅NC装置		2)運行情報システム
4)ニュース編集システム			3)駅ネットワーク装置
5)システム監視			
6)コンテンツ入替用PC			

(2 前年度から変更・見直した点)

GTV装置の運用開始から機器更新されていない機器に関して今年度は更新とする。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位：千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	4,054,984	3,025,489	1,029,495

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 桜木町・高島町間(上り)軌道改良工事	405,848

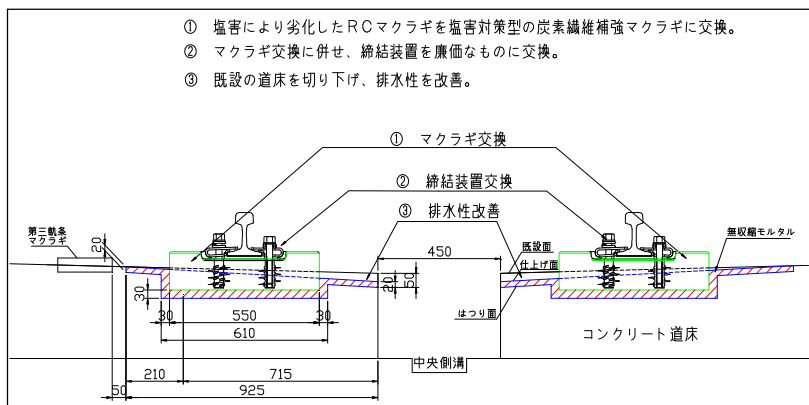
(1) 事業目的・内容

当該区間は、海に近接しているため、漏水に高い濃度の塩分が含まれており、軌道の鋼製部分の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって、新しい軌道構造をもつ軌道の更新工事を行います。

本工事は平成30年度上半期より工事を着手し、令和2年度に完成予定となっています。

改良概要

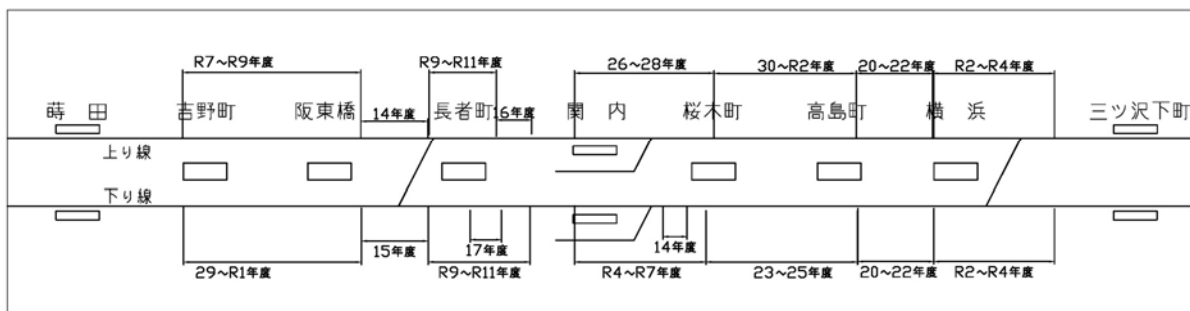
軌道の防錆能力を向上させる為、マクラギ、締結装置を交換し、コンクリート道床の排水性を改善します。



改良計画

本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っています。

軌道改良(道床切下げ及びRCマクラギ交換)計画図



(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6) 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	502,338	405,848				908,186
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、加藤

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
--------	--------

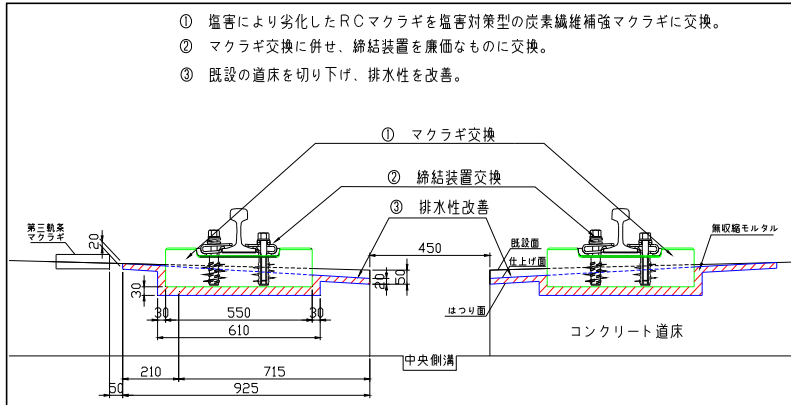
2 横浜・三ツ沢下町間(上下)軌道改良工事

(1) 事業目的・内容

当該区間は、海に近接しているため、漏水に高い濃度の塩分が含まれており、軌道の鋼製部分の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって、新しい軌道構造をもつ軌道の更新工事を行います。本工事は令和2年度下半期より工事を着手し、令和4年度上半期に完成予定となっています。

改良概要

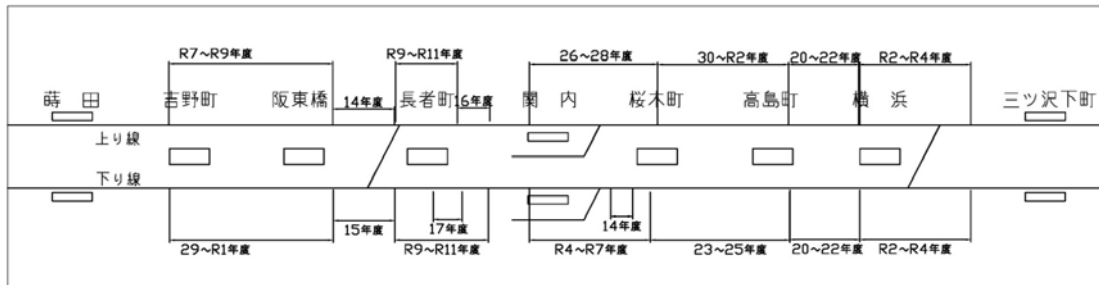
軌道の防錆能力を向上させるため、マクラギ、締結装置を交換し、コンクリート道床の排水性を改善します。



改良計画

本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っています。

軌道改良(道床切下げ及びRCマクラギ交換)計画図



(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

(4) 除却資産の有無

(5) 補助対象の有無

有
 無

有
 無

(6) 年次表

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、難波

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
3 工事用車両購入及び更新	70,000

(1 事業目的・内容)

A型モーターカー1台を購入いたします。

現在1・3号線では資機材運搬用の工事用車両「C型モーターカー」を8台、「A型モーターカー」を3台所有しておりますが、A-8モーターカーの使用年数が28年を迎え、今後故障に対応する部品等の手配が不可能になるため、新車納入を待つて廃車とします。

●工事用車両更新・OH計画

種別	型番	使用年数	R元	R2	R3	R4	R5
モーターカー A型	A-6	28年			更新		
	A-7	28年				更新	
	A-8	28年		更新			
モーターカー C型	C-5	13年					OH3
	C-7	9年				OH2	
	C-8	8年		OH1			
	C-9	8年					
	C-10	4年				OH1	
	C-11	4年				OH1	
	C-12	-年					
C-13	-年						

OH:オーバーホール(分解整備)のこと

債務負担について

令和元年度契約予定の作業台車と軌道清掃車の債務負担を設定しています。

写真1:A-8モーターカー



写真2:購入予定モーターカーの型



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	118,688	70,000				
債務負担設定	80,113					

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、加藤

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
--------	--------

4 軌道管理システム機能追加ほか改良

(1 事業目的・内容)

- ・検査システムの改修及びマクラギポスト管理機能を追加します。
- マクラギポスト管理機能の追加を行います。
- 3号線で先行実施されているマクラギポスト管理機能を1・4号線にも反映を行います。
- 現在3号線のみマクラギポストによる管理を行っており、1・4号線はレールナンバーを用いた管理を行っています。
- マクラギナンバープレート設置工事が終了したことに伴い、1・4号線もマクラギポストによる管理に移行を行います。
- これにより、管理方法のズレが解消されます。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	8,019					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、岩崎

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
5 関内長者間急曲線軌道改良工事	33,226

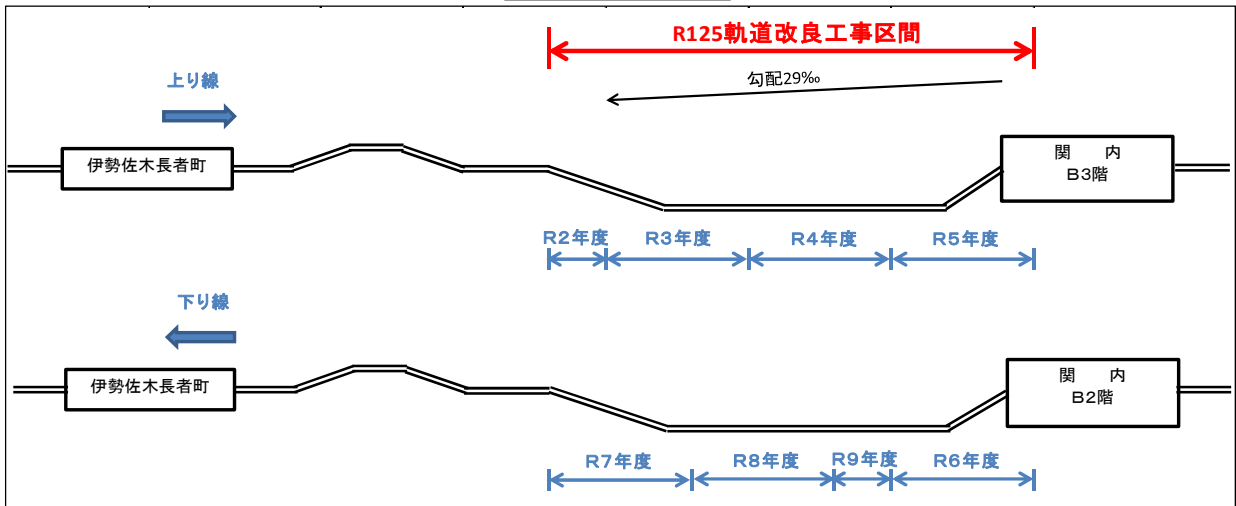
(1 事業目的・内容)

関内～伊勢佐木長者町駅間の曲線区間(R125)は急曲線であることや塩害部区間であることから、近年損傷が発生しており、保守作業に多くの労力を要しています。

保守作業の軽減・安全性の向上を目的に、軌道構造の強化や軌道部材の防食等も含めた幅広い視野からの改良検討をもとに、軌道改良工事を実施します。



軌道改良工事計画



(2 前年度から変更・見直した点)

改良内容の検討結果をもとに、工事計画を策定しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	18,000	33,226				
債務負担設定	349,718					

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額																					
7 川和車両基地試運転線RP増設 軌道工事	41,610																					
<p>(1 事業目的・内容) グリーンライン川和車両基地の試運転線リアクションプレートを増設する工事です 令和元年度は支給材料の契約のみ。納期は令和2年度になります。工事は令和2年度契約、令和3年度完成になります。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p> <p>(6 年次表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 10%;">元年度予算</th> <th style="width: 10%;">2年度予算</th> <th style="width: 10%;">3年度予定</th> <th style="width: 10%;">4年度予定</th> <th style="width: 10%;">5年度以降</th> <th style="width: 10%;">総 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">41,610</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td style="text-align: center;">64,149</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額	事業費		41,610					債務負担設定	64,149					
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額																
事業費		41,610																				
債務負担設定	64,149																					

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額					
8 川和車両基地検車線増設 軌道工事	15,510					
<p>(1 事業目的・内容) グリーンライン川和車両基地に検車線を1線増設する軌道工事です</p> <p>令和2年度は支給材料の納入払い(契約はR元年度)、設計委託、工事契約。 レールとリアクションプレート以外の材料購入は令和2年度契約→3年度納入。</p>						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)					
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
(6 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,960	15,510				
債務負担設定	49,570					49,570

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・千葉・増田

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
9 早期運行再開のための耐震補強	931,232

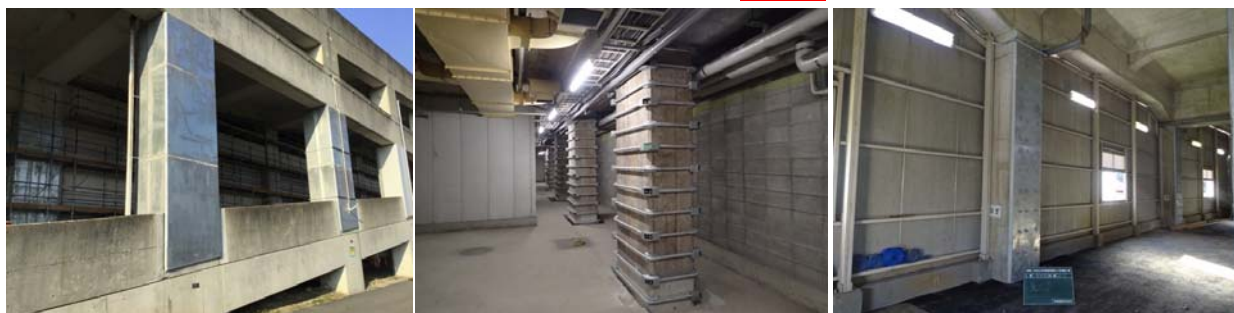
(1 事業目的・内容)

兵庫県南部地震以前に作られた構造物については、旧運輸省の通達により、耐震補強としてラーメン高架橋・橋りょうのRC柱、開削トンネルのRC中柱の補強及び橋りょうの落橋防止工を平成7～15年度に実施して完了しています。

平成25年度からは、首都圏で想定されている大規模地震が発生した際でも、列車が早期に運行再開するための耐震補強を実施しています。

- 実施区間 戸塚駅～あざみ野駅区間
- 補強対象構造物 ラーメン高架橋、橋りょう、開削トンネル
- 耐震補強の進め方 耐震補強の必要性を判断(耐震性能診断設計)【H25年度より実施】
↓
耐震補強工事の詳細設計【H25年度より実施】
↓
耐震補強工事の実施【H27年度より実施】～R10年度まで

		H26年度	H27年度	H28年度～30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度～6年度	R7年度～10年度
耐震調査・設計委託									
耐震工事	ラーメン・橋脚(高架部)								
	トンネル・駅部(地下部)								



(2 前年度から変更・見直した点)

早期運行再開のための耐震補強は、平成24年7月に国から通達された「鉄道構造物等設計標準(耐震設計)」に基づいて設計を行っており、今までの考え方では、耐震補強が必要と診断された柱($V_{yd}/V_{mu} \leq 1.0$)について、この値に関係なく補強を行ってきました。

今後は、 $V_{yd}/V_{mu} \leq 0.8$ ($V_u/V \leq 1.1$)の閾値にある柱を優先的に補強した後、 $0.8 < V_{yd}/V_{mu} \leq 1.0$ ($1.1 < V_u/V \leq 1.4$)の閾値にある柱の補強に着手することとします。

※ V_u : 破壊せん断力 V : 破壊曲げモーメント作用時のせん断力

V_{yd} : 設計せん断耐力 V_{mu} : 部材が曲げ耐力に達するときのせん断力

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有(地下高速鉄道整備事業費補助)
- 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	509,649	931,232	834,380	968,849	2,832,018	6,076,128
債務負担設定	956,624	1,612,994	245,276	305,899		3,120,793

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・千葉

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
10 宮元町シールドトンネル補修工事	

(1 事業目的・内容)

吉野町～蒔田間の宮元町シールドトンネルは、開業後35年以上経過しており、経年劣化がみられるため列車運行の安全性維持を目的として、計画的に補修を行います。

※宮元町シールドトンネルの補修計画

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・設計委託	上下線							
補修工事	上下線							



▲RCセグメントの劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	48,300					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・千葉・杉崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
11 関内駅ほか構築補修工事	497,248

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄関内駅及び吉野町ポンプ室等について、塩害による劣化が著しいため、塩害対策工法を用いて止水注入や構築補修工事を実施します。現在、関内駅のホーム部分の施工は終わりましたが、ホーム外の区間における補修工事を行っています。

※関内駅ほか構築補修工事

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補修工事-1							
補修工事-2							
補修工事-3							



▲浮きがあるコンクリートを取り除いた状態



▲コンクリートの修復完了後

(2 前年度から変更・見直した点)

補修工事-3の設計を見直したことにより、令和2年、3年の金額を削減できた。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	588,048	497,248	349,573			1,434,869
債務負担設定	938,000					

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・千葉・杉崎

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
12 大江橋換気塔ほか構築補修工事	

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄の関内駅と桜木町駅の駅間にある大江橋換気塔については、塩害によりはく離・はく落が発生しており、叩き落として対処しているが、かなり劣化が進行している。そのため、塩害対策工法を用いて止水注入や構築補修工事を実施します。また、トンネル部についても、劣化が進行している箇所があるため、併せて構築補修工事を実施します。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
設計委託					
上り線					
ポンプ室					
下り線					



▲通風孔の劣化状況



▲下り線の劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

今年度は設計委託を行い、工事は令和2年度からとした。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	27,900					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・千葉

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
13 上永谷出入庫線高欄補修工事	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン上永谷出入庫線(一部本線)の高欄で老朽化によりコンクリートの剥離が発生しています。現在は叩き落として対処しているが、著しい劣化が見られる部分があり、高欄下は歩行者が通行するところもあるため、補修工事を実施します。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	63,711					
債務負担設定	100,000					100,000

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田係長・千葉係長・新妻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
14 鳩除け工事	

(1 事業目的・内容)

お客様からの鳩フン被害に対するご意見が多いため、橋梁構造物等に鳩除け設備(ネット、スパイク)を設置し、鳩害対策を行います。



▲鳩除けネット対策



▲鳩除けスパイク対策

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,600					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・千葉

(単位:千円)

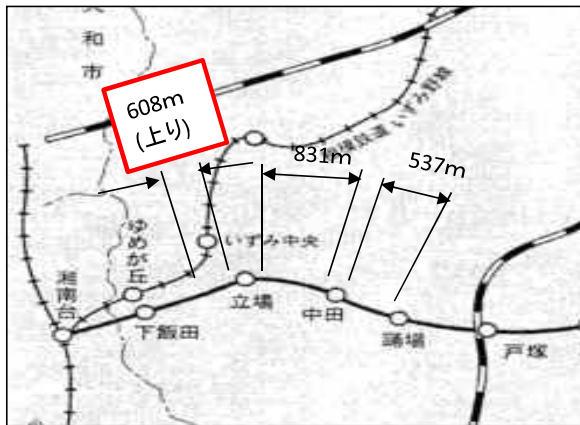
【 事 業 内 容 】	2年度予算額
15 フローティングスラブ転落防止施設設置工事	

(1 事業目的・内容)

踊場駅・下飯田駅間のトンネル区間に施工されたフローティングスラブ軌道の側道下側は、軌道面とシールドトンネル側部の間に、幅、深さ共に約80cmのすり鉢状に底部が窄まった隙間があります。保守作業において誤って転落、または、足をついた場合、非常に危険な状況になることから、転落を防止する施設を設置する工事を行います。

■フローティングスラブ転落防止施設設置工事

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
電気設備等作業台設置						
調査・工法選択委託						
調査設計委託						
転落防止施設設置工事						
		中田・踊場	中田・立場 (上り)	中田・立場 (下り)	立場・下飯田 (下り)	立場・下飯田 (上り)



▲当該区間平面図



▲作業台設置状況【試験施工】

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	65,609					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・千葉・平井

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
16 構造物コンクリート剥離箇所補修工事	

(1 事業目的・内容)

塩害区間ではく落の恐れのある箇所の叩き落としを行ったところ計画的に補修を行うために今後の補修方法、安全性について調査設計委託を行い、その後補修工事を行います。



▲劣化状況

▼補修計画

	31・元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
設計委託		(3)R2委託			
補修工事	(1)H31構築補修工事				
		(2)R2構築補修工事			

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	711,582					
債務負担設定	652,960					

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・服部

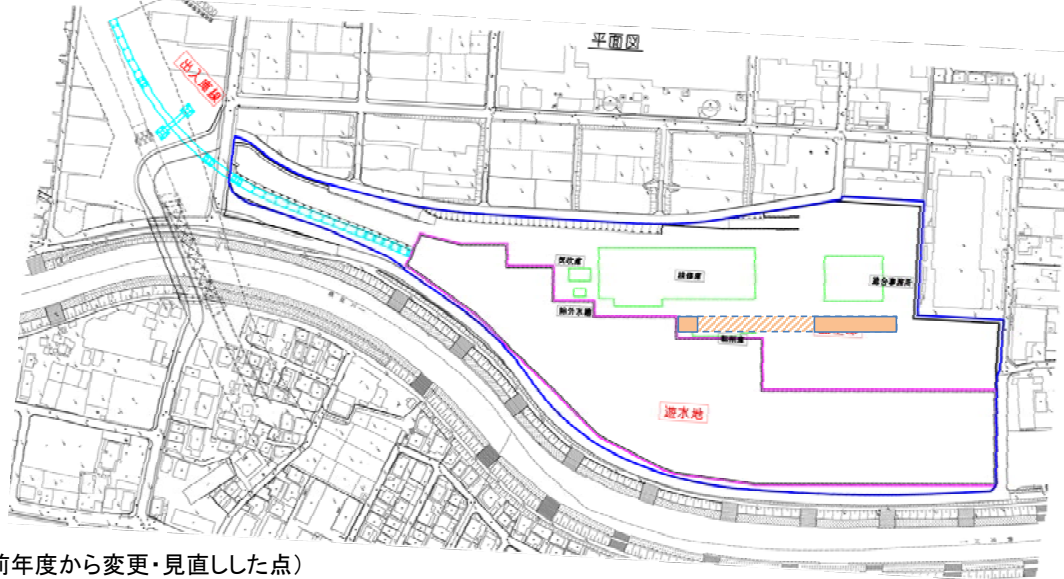
(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
17 グリーンライン混雑緩和策(6両化)川和車両基地地盤改良工事	

(1 事業目的・内容)

川和車両基地は、鶴見川沿いに位置し、盛土下の現地盤に軟弱な圧密層があるため、軌道敷設部及び建物等には地盤改良あるいは杭基礎構造で対策を施していますが、その他については盛土で施工されており、経年沈下により一部の施設で変状をきたしています。

このため、車両6両化に伴い、転削線等延長する部分の沈下対策の工事の設計を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

地盤改良設計範囲

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・近藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
18 グリーンライン混雑緩和策(6両化)に伴う駅ホーム延伸等工事	

(1 事業目的・内容)

GL6両化に伴い、ホーム延伸工事及び手信号現示場所の設置工事を行います。



都筑ふれあいの丘駅 ホーム延長



川和町駅1, 2番ホーム延長

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・近藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
19 グリーンライン混雑緩和策(6両化)川和車両基地電車線引留柱基礎設置工事	

(1 事業目的・内容)

GL6両化に伴い、川和車両基地の留置線の延長を行うため、端部にある電車線引留柱の基礎設置工事を行います。



電車線引留柱

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：越後屋・岩下

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
20 川和車両基地セキュリティレベル向上のための設計業務委託／(物品調達)	

(1 事業目的・内容)

各車両基地では、落書き行為やテロ行為に対して、従来に対策に加え更なる高度なセキュリティ対策を、今年度から実施しています。

令和2年度は、車両増備に伴い警戒強化が望まれる、川和車両基地の侵入者対策を図るべく、セキュリティレベル向上のための設計業務委託を施行します。また、設計業務委託の成果品を用いて、セキュリティ対策に必要な物品を調達します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：越後屋・岩下

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
21 上永谷車両基地セキュリティレベル向上業務委託	

(1 事業目的・内容)

各車両基地では、落書き行為やテロ行為に対して、従来の対策に加え更なる高度なセキュリティ対策を、今年度から実施しています。

令和2年度は、今年度施行したセキュリティ対策の効果を検証した上で、上永谷車両基地セキュリティの更なる充実を目的として、係る業務を委託します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	10,742					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：越後屋、杉崎、西條

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
22 保守用車両運行打合せ表のシステム化	■

(1 事業目的・内容)

保守用車両運行打合せ表は、ブルーライン及びグリーンラインの夜間作業を安全かつ計画通りに行うため、各保守区の作業内容、保守用車両運行ルート、き電時刻、留置変更及び停電情報を一覧にまとめ、これを基に保守区間で作業調整を行います。

現在運用中の保守用車両運行打合せ表は、入力件数の制限、連絡時の通話待ちによる作業遅れ等が課題となっていますが、システム化してフォーマットの変更及び音声応答機能の組入れる等を行い、夜間作業の安全性を向上して行きます。

令和2年度では、現在運用中の保守用車両運行打合せ表の部分的な改良を行い、システム化については引き続き関係各所と調整のうえ進めて行きます。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

年度末になると、夜間作業の件数が1保守区10件の枠を超えてしまうが、現行では、追加できないため他保守区欄に入力している。

総合司令部から、作業開始・終了連絡の確認欄を追加して欲しいと要望を受けている。

作業開始及び作業終了報告を総合司令部に行く時、電話が集中し繋がらない時があるため改善の要望が出ている。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費		■				■
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	5,474,038	6,658,340	△ 1,184,302

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 上大岡駅改良工事	

(1 事業目的・内容)

上大岡駅は、40年以上が経過し、施設や設備機器が更新時期を迎えるなど、老朽化が進んでいます。加えて、お客様の利便性向上及び駅周辺のバリアフリー化に寄与するため、京急側改札口に地上行きエレベーターの新設、また順次採用が予定されている女性職員用施設の整備等を含む駅全体のリニューアルを行います。
そのため、H29年度に基本設計、H30年度に実施設計、R1年度から改良工事に着手し、駅利用者へ快適な駅空間の提供を行うとともに、各種設備機器の更新も実施するものです。

<年次計画>

(千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
基本計画	10,260								10,260
基本設計		61,992							61,992
実施設計			130,096						130,096
工事				992,499					

※実績 ※実績 ※実績 ※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



京急連絡改札口側地上行きエレベーター(イメージ図)

(4 除却資産の有無)

- 有 1995-00145、1996-00165
 無

(5 補助対象の有無)

- 有 (地下構想区鉄道整備事業補助)
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	992,499					
債務負担設定	4,411,105					

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 関内駅改良工事	1,498,639

(1 事業目的・内容)

関内駅は、開業から約40年が経過し、躯体からの漏水の発生や、施設や設備機器が更新時期を迎えるなど、老朽化が進んでいます。そのため、H28年度から改良工事に着手し、駅利用者へ快適な駅空間の提供を行うとともに、各種設備機器の更新も実施するものです。

■工事費

単位:千円

	H28	H29	H30	R1	R2	計
建築工事(躯体補修工事含む)	3,580	286,840	355,960	744,000	940,260	2,330,640
空調衛生設備工事	0	107,520	145,617	138,240	505,802	897,179
電気設備工事	0	41,110	164,470	314,986	162,798	683,364
計	3,580	435,470	666,047	1,197,226	1,608,860	3,911,183

※実績 ※実績 ※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	1,307,447	1,498,639				2,806,086
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
3 新横浜駅改良工事	972,705

(1 事業目的・内容)

新横浜駅では、神奈川東部方面線との接続により、利用する旅客数や流動、周辺地域などにおいて大幅な変化が予想されます。本工事は、このような神奈川東部方面線接続後に予想される旅客等の変化と、横浜の玄関口としてお客様を快適な空間でお迎えできるよう、レイアウト変更や内装改修を行うものです。

については、平成30年度からの前期工事及び令和元年度からの前期その2工事では手洗所改修などのバリアフリー設備の充実や老朽化した設備等の更新を行い、令和2年度(予定)からの後期工事では神奈川東部方面線との接続に伴う改修工事を実施します。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				ラグビーWC	オリンピック		ST線開業
基本設計	基本設計						
実施設計	実施設計						
工事(前期工事)			工事				
工事(前期その2工事)				工事			
工事(後期工事)					工事		
前期工事	建築工事		70,787	57,048	195,809		
	機械設備工事		8,744	113,558	162,740		
	電気設備工事		1,339	25,065	59,129		
	工事費	-	80,870	195,671	417,678	-	-
前期その2工事	建築工事			122,835	255,107		
	機械設備工事			18,151	58,832		
	電気設備工事			70,788	142,438		
	工事費	-	-	211,774	456,377	-	-
	昇降機工事	-	-	225,305	162,416	-	-
後期工事	建築工事						
	機械設備工事						
	電気設備工事						
	工事費						
	昇降機工事						
	システム工事						
	合計		80,870	632,750			

※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	883,234	972,705				
債務負担設定	483,410					

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
4 手洗所改良その他工事	133,900

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっているセンター北駅の男女旅客用手洗所の改修、特定天井の対応を行います。また、センター北駅の駅舎内の部分的な改修工事(コンコースの床面滑り止め加工、精算機室の小窓設置、鳩対策等)についてもあわせて工事を行います。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
センター北	設計	工事	
センター南、新羽		設計	工事
設計費	14,520		
工事費	0	133,900	451,644
計	14,520		

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費		133,900	451,644			585,544
債務負担設定		211,417				211,417

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 手洗所改良その他工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっているセンター南駅と新羽駅の男女旅客用手洗所について改修工事の設計を行います。また、センター南駅は、駅舎内の部分的な改修工事(コンコースの床面滑り止め加工、外壁の一部補修、屋根の漏水対策、軌道内とコンコースの鳩対策)についてもあわせて設計を行います。令和2年度は基本設計・実施設計を行い、令和3年度に工事を実施します。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
センター北	設計	工事	→
センター南、新羽		設計	工事
設計費	14,520		
工事費	0	133,900	451,644
計	14,520		

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	22,445					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
6 ホーム待合所設置工事	

(1 事業目的・内容)

お客様へ快適な駅空間を提供するため、全駅の冷房化に計画的に取り組めます。主要駅については全館冷房方式を採用していましたが、中間駅では冷房付き待合所を設置する方針を進めています。
令和元年度から工事着手する北山田駅について引き続き工事を行い、令和2年夏季の供用開始を目指します。
また、吉野町駅については、令和2年度に工事着手し、令和3年夏季の供用開始を目指します。

【現在の冷房化実施駅】

BL)あざみ野、センター北、センター南、仲町台、新羽、新横浜、岸根公園、片倉町、三ツ沢上町、三ツ沢下町、横浜、桜木町、関内、阪東橋、蒔田、弘明寺、上大岡、港南中央、戸塚、踊場、立場、湘南台
GL)日吉、都筑ふれあいの丘、川和町、中山
冷房化率:65%(BL22駅、GL4駅)

実施駅	R1	R2	R3	R4
	ラグビーW杯	オリパラ		
蒔田、港南中央	工事			
北山田	設計	工事		
吉野町		設計	工事	
伊勢佐木長者町、中川			設計	工事
設計費	1,912			
工事費	72,517			
計	74,429			

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	80,852					
債務負担設定	33,827					

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
7 ホーム待合所設置工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

お客様へ快適な駅空間を提供するため、全駅の冷房化に計画的に取り組みます。主要駅については全館冷房方式を採用していましたが、中間駅では冷房付き待合所を設置する方針を進めています。
令和2年度は吉野町駅について設計を行います。

【現在の冷房化実施駅】

BL)あざみ野、センター北、センター南、仲町台、新羽、新横浜、岸根公園、片倉町、三ツ沢上町、三ツ沢下町、横浜、桜木町、関内、阪東橋、蒔田、弘明寺、上大岡、港南中央、戸塚、踊場、立場、湘南台

GL)日吉、都筑ふれあいの丘、川和町、中山

冷房化率:65%(BL22駅、GL4駅)

実施駅	R1	R2	R3	R4
	ラグビーW杯 オリパラ			
蒔田、港南中央	工事			
北山田	設計 工事			
吉野町		設計 工事		
伊勢佐木長者町、中川			設計 工事	
設計費	1,912			
工事費	72,517			
計	74,429			

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	2,307					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
8 駅案内サイン改修工事	

(1 事業目的・内容)

現状の駅案内サインの基本的な考えは、平成3年のあざみ野線開業時に策定されたもので、高齢化が進むにつれお客様のニーズに対応できなくなっています。特に一次開業駅は当時の筐体の表示面が小さく、情報量も多いため、文字が小さく読みにくい状況です。

そこで、平成25年度、お客様により分かりやすく利用しやすい駅へと整備することを目的として、駅案内サインの基準となるサインマニュアルを見直し、全面改定しました。

つきましては、新たなサインマニュアルの基準に基づき改修することで駅利用者の利便性向上を図ります。

実施駅	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
弘明寺	設計	工事			ラグビーW杯	オリパラ				
戸塚、港南中央、蒔田、吉野町、伊勢佐木長者町		設計	工事							
高島町、下永谷、舞岡			設計	工事						
あざみ野、センター北 センター南、湘南台				設計	工事					
中川、仲町台 新羽、北新横浜			設計		設計	工事	工事			
岸根公園、片倉町						設計		工事		
三ツ沢上町、三ツ沢下町、踊場、中田								設計	工事	
立場、下飯田									設計	工事
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷、横浜、桜木町	(駅改良工事等にて実施)									
設計費	2,268	9,720	20,634	10,524	3,669					
工事費	15,180	22,792	384,274	112,168	171,871					
計	17,448	32,512	404,908	122,692	175,540					

※実績 ※実績 ※実績 ※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	261,903					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】 2年度予算額

9 駅案内サイン改修工事(設計)

(1 事業目的・内容)

現状の駅案内サインの基本的な考えは、平成3年のあざみ野線開業時に策定されたもので、高齢化が進むにつれお客様のニーズに対応できなくなっています。特に一次開業駅は当時の筐体の表示面が小さく、情報量も多いため、文字が小さく読みにくい状況です。

そこで、平成25年度、お客様により分かりやすく利用しやすい駅へと整備することを目的として、駅案内サインの基準となるサインマニュアルを見直し、全面改定しました。

新たなサインマニュアルに基づき改修することで駅利用者の利便性向上を図ります。

実施駅	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
					ラグビーW杯	オリパラ				
弘明寺	設計	工事								
戸塚、港南中央、蒔田、吉野町、伊勢佐木長者町		設計	工事							
高島町、下永谷、舞岡			設計	工事						
あざみ野、センター北 センター南、湘南台				設計	工事					
中川、仲町台 新羽、北新横浜			設計		設計	工事	工事			
			仲町台・北新横浜		中川・新羽	新羽・北新横浜	中川・仲町台			
岸根公園、片倉町						設計		工事		
三ツ沢上町、三ツ沢下町、踊場、中田								設計	工事	
立場、下飯田									設計	工事
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷、横浜、桜木町	(駅改良工事等にて実施)									
設計費	2,268	9,720	20,634	10,524	3,669					
工事費	15,180	22,792	384,274	112,168	171,871					
計	17,448	32,512	404,908	122,692	175,540					
	※実績	※実績	※実績	※実績	※決算見込					

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	4,664					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
10 駅美観向上に伴う内装改修工事	129,821

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄駅構内においては、①内装材の老朽化、②広告や掲示物の混在、③掲示板の劣化等の課題があります。一方、今後東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、国内外から多くの旅行者、関係者が訪れると考えられ、お客様を快適な駅空間でお迎えできるよう、駅空間の美観及び快適性の向上が必要です。平成29年度には、横浜駅、桜木町駅、あざみ野駅、戸塚駅及び湘南台駅を対象に基本構想、基本計画を策定し、平成30年度には、基本設計・実施設計を行いました。令和元年度には横浜駅の内装・サイン改修、あざみ野駅、戸塚駅、及び湘南台駅の券売機廻りのリニューアル工事に着手し、オリンピック・パラリンピック前に完了予定です。また、桜木町駅ではトイレブースの更新及び洋便器化を行います。令和2年度には、桜木町駅の内装・サイン改修工事に着手し、令和3年度完成予定です。

< 年次計画表 >

業務	H29	H30	R1	R2	R3
基本構想・基本計画	計画				
基本設計・実施設計		設計			
工事 (横浜駅・湘南台駅・戸塚駅・あざみ野駅)			工事		
工事(桜木町駅)				工事	

(2 前年度から変更・見直した点)

横浜駅ほか3駅サイン改修その他工事は、不調により2か年工事となった。
桜木町駅内装改修工事は、オリパラ後の工事着手としたため、2か年工事となった。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	501,914	129,821				
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
11 グリーンライン混雑緩和策(6両化)に伴う改修工事	1,401,023

(1 事業目的・内容)

グリーンラインの乗車人員は増加傾向にあり、混雑率が年々増加しています。混雑緩和対策として、輸送力の増強を目的とした6両化の編成を計画していますが、それに伴いホーム延長部分および車両基地の改修が必要となります。H30年度に基本設計に着手し、R1年度に実施設計を行います。R2年度から改修工事に着手し、グリーンラインの駅施設、車両基地の整備を実施していきます。

(単位:千円)

工種	H30	R1		R2		R3
	基本設計	基本設計	実施設計	実施設計	工事	工事
駅ホーム延伸工事(建築・設備・電気)	0	51,840	26,290	104,083	898,522	1,418,717
検修庫増築工事(建築・設備・電気)					389,773	615,428
車両検修設備工事						
ホームドア増設工事						
信号・通信工事	-	-	-	-		
車両基地軌道工事	7,730	-	-	-		
電車線工事	0	7,290	3,334	8,645		
変電所容量増設工事			-	-		
計	7,730	59,130	29,624	112,728	1,288,295	2,034,145
		88,754		1,401,023		

※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	74,424	1,401,023	2,034,145			3,509,592
債務負担設定		2,034,145				2,034,145

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
12 職員用施設改修工事	58,356

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの各駅においては、女性用職員用施設(手洗所、更衣室、シャワー室)等が未整備の状況です。近年、女性駅務員が増えており、これに対応するため女性職員用施設の整備が必要となっております。

令和2年度につきましては、戸塚駅において事務室系空調機更新工事が予定されておりますので、併せて女性職員用施設を設置する工事を行い、前払金を支出します。

(1)現況

		手洗所	ロッカー室	シャワー室	洗面所
戸塚駅	男性	あり	あり	共用	共用
	女性	なし	なし		

(2)事業スケジュール

実施駅	H28	H29	H30	R1	R2	R3
中川	設計	工事				
踊場、新羽		設計	工事			
湘南台、立場			設計	工事		
戸塚				設計	工事	
港南中央					設計	工事
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷	駅改良工事にて整備					
設計費	432	2,204	12,420	8,240		
工事費		24,405	176,859	107,450		
計	432	26,609	189,279	115,690		

※実績 ※実績 ※実績 ※決算見込

※1 設6事務室系空調機更新工事の戸塚駅は建12戸塚駅職員用施設改修工事に含む。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	330,077	58,356				
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
13 職員用施設改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの各駅においては、女性用職員用施設(手洗所、更衣室、シャワー室)等が未整備の状況です。近年、女性駅務員が増えており、これに対応するため女性職員用施設の整備が必要となっております。

令和2年度につきましては、港南中央駅において女性職員用施設を設置する工事の設計を行います。

(1)現況

		手洗所	ロッカー室	シャワー室	洗面所
港南中央駅	男性	あり	あり	共用	共用
	女性	あり	あり		

(2)事業スケジュール

実施駅	H28	H29	H30	R1	R2	R3
中川	設計	工事				
踊場、新羽		設計	工事			
湘南台、立場			設計	工事		
戸塚				設計	工事	
港南中央					設計	工事
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷	駅改良工事にて整備					
設計費	432	2,204	14,751	8,240		
工事費		24,405	176,859	107,450		
計	432	26,609	191,610	115,690		

※実績 ※実績 ※実績 ※決算見込

※1 設6事務室系空調機更新工事の戸塚駅は建12戸塚駅職員用施設改修工事に含む。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	9,149					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
14 段鼻改修工事	

(1 事業目的・内容)

本工事は、駅の階段における弱視の方に対する踏み外し防止のための工事です。1次開業及び2次開業の駅においては、階段の段鼻(踏面の先端)と踏面が一枚石で造られているため、段差の識別が付きづらくなっています。これまでは、段鼻に警告シートを貼っていましたが、数年で剥がれてしまうため、メンテナンスと美観の点で課題となっておりました。そこで貼物ではなく階段段石に溝を彫り、硬化の速いエポキシ樹脂を流し込む工事を行い、耐久性の向上を図ります。

● 更新実績・計画

	平成28年度 実施済	平成29年度 実施済	平成30年度 実施済	令和元年度 実施予定	令和2年度 実施予定
駅 名	戸塚・桜木町駅	長者町・吉野町	蒔田	港南中央	弘明寺
場 所	各出入口・連絡階段	各出入口・連絡階段	各出入口・連絡階段	各出入口・連絡階段	出入口・連絡階段



阪東橋駅改修例



弘明寺駅現状

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	6,494					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
15 止水板改修その他工事	159,980

(1 事業目的・内容)

洪水により浸水する恐れのある地下鉄駅の出入口については、止水板を整備しています。老朽化した止水板の更新と同時に軽量化を行い、より確実かつ迅速に設置できるようにすることで駅の安全性を高めます。
令和2年度は、5駅の更新を行います。また、新羽駅に防水シャッターの設置も併せて行います。

○止水板更新スケジュール

	R1	R2	R3	R4
実施駅	蒔田 伊勢佐木長者 町	港南中央 弘明寺 北新横浜 横浜 岸根公園	三ツ沢下町 三ツ沢上町 片倉町	下永谷 舞岡 戸塚 桜木町 中田
箇所数	8か所	16か所	12か所	9か所



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	34,168	159,980				194,148
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
16 片倉町駅ほか改修工事	75,718

(1 事業目的・内容)

本件では、新羽保守管理所、上永谷保守管理所、川和保守管理所の各検修庫内の点検用歩廊に作業員の安全のための転落防止措置を施します。

○工事内容

- ① 新羽保守管理所:点検用歩廊への転落防止措置
- ② 上永谷保守管理所:点検用歩廊への転落防止措置
- ③ 川和保守管理所:点検用歩廊への転落防止措置
- ④ 川和保守管理所総合事務所棟・保守棟改修

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費		75,718				
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
17 エレベーターのリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様により安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
* 阪東橋 (2基)	工事			
あざみ野 (3基)	工事			
湘南台 (1基)	設計	工事		
* 新横浜 (5基)	設計		工事	
新羽 (2基)		設計	工事	
* 上大岡 (4基)	設計		工事	
中田 (3基)			設計	工事
設計費	1,350	2,495		
工事費	133,791	32,112		
計	135,141	34,607		

※実績

※決算見込

*各改良工事にて予算計上

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

建築基準法施行令(平成26年4月一部改定)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 湘南台EV: 1999-20-01318
 無 新羽EV1号機: 1992-20-00331
 新羽EV2号機: 1992-20-00332

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	35,406					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
18 エレベーターのリニューアル(設計)	

(1 事業目的・内容)

お客様により安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
* 阪東橋 (2基)	工事			
あざみ野 (3基)	工事			
湘南台 (1基)	設計	工事		
* 新横浜 (5基)	設計	工事		
新羽 (2基)		設計	工事	
* 上大岡 (4基)	設計		工事	
中田 (3基)			設計	工事
設計費	1,350	2,495		
工事費	133,791	34,112		
計	135,141	36,607		

※実績

※決算見込

* 各改良工事にて予算計上

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

建築基準法施行令(平成26年4月一部改定)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,495					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
19 エスカレーターのリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様に安全かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、設置後長期間(30年)経過したブルーラインのエスカレーターを計画的に更新・リニューアルを実施します。

現在、ブルーラインには、稼動年数30年を超えるエスカレーターが30台あります。

(高島町駅4台、桜木町駅1台、下永谷駅2台、三ツ沢下町駅7台、三ツ沢上町駅8台、片倉町駅5台、岸根公園駅2台、新横浜駅1台)

これらのエスカレーターは、今後、経年劣化によって機能が低下し、さらに老朽化していく状況にあります。機能維持に要する保守部品の確保も困難になることが予想されるため、各駅各機種に応じた設備機能の改善とバリアフリー対応機能を付加したエスカレーターへのリニューアルを実施し、安全性や快適性・省エネ性を向上させます。

■ エスカレーターリニューアル計画

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
工事施工	高島町駅 2基			4号機・6号機
		高島町駅 2基		1号機・2号機
			桜木町駅 1基	ぴおシティ連絡
			下永谷 2基	1号機・2号機

※令和2年度実施予定駅

①高島町駅 1、2号機(昭和51年設置)※ラチ内 B1F~B2F

※エスカレーターリニューアル実施済の駅

- ①平成26年度 桜木町駅 2基
- ②平成28年度 関内駅 4基
- ③平成29年度 横浜駅 2基
- ④平成30年度 高島町駅 2基

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 高島町駅:2基
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	111,787					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
20 信号機器室系空調機更新工事	

(1 事業目的・内容)

列車運行を担う信号機器室には、各信号機器の発生熱を回収し、室内環境を維持するため、専用の冷房装置を設置しております。弘明寺駅、高島町駅、三ツ沢上町駅の機器室空調については、法定耐用年数の15年を超えたもので、現在では故障率が増加傾向にあります。

また、平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護、地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃の予定となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから駅単位での空調機の計画的な更新を行います。

更新計画

駅名	設置年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
上永谷	平成7年	<input type="checkbox"/> 工事			
伊勢佐木長者町	平成4年	<input type="checkbox"/> 工事			
弘明寺	平成12年	<input type="checkbox"/> 設計	<input checked="" type="checkbox"/> 工事	<input type="checkbox"/> 工事	
高島町	平成4年	<input type="checkbox"/> 設計	<input checked="" type="checkbox"/> 工事	<input type="checkbox"/> 工事	
三ツ沢上町	昭和60年	<input type="checkbox"/> 設計	<input checked="" type="checkbox"/> 工事	<input type="checkbox"/> 工事	
片倉町	昭和59年		<input type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	
設計		5,802			
工事		175,148			

★決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	299,306					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
21 信号機器室系空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

列車運行を担う信号機器室には、各信号機器の発生熱を回収し、室内環境を維持するため、専用の冷房装置を設置しております。弘明寺駅、高島町駅、三ツ沢上町駅の機器室空調については、法定耐用年数の15年を超えたもので、現在では故障率が増加傾向にあります。

また、平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護、地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃の予定となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから駅単位での空調機の計画的な更新を行います。

更新計画

駅名	設置年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
上永谷	平成7年	<input type="checkbox"/> 工事			
伊勢佐木長者町	平成4年	<input type="checkbox"/> 工事			
弘明寺	平成12年	<input type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	<input type="checkbox"/> 工事	
高島町	平成4年	<input type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	<input type="checkbox"/> 工事	
三ツ沢上町	昭和60年	<input type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	<input type="checkbox"/> 工事	
片倉町	昭和59年		<input checked="" type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	
設計		5,802			
工事		175,148			

★決算見込

※片倉町含まず

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	5,802					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
22 事務室系空調機更新工事	35,078

(1 事業目的・内容)

駅の事務室系の空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーンニングしており、各系統ごと駅の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。これまでの空調機更新は、年式の古いもの、また故障率の高いものを順次部分的に更新を行ってきたため、各所に法定耐用年数15年を超えた空調機が存在します。また設置から20年を経過した空調機は故障率が増加傾向にあります。さらに平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護また地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃の予定となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから駅単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

■ 空調機更新計画

	設置年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
阪東橋 ※	平成2年	工事		
センター南 ※	平成5年	工事		
上大岡 ※	平成7年	工事	工事	工事
下飯田	平成11年	工事		
湘南台 ※	平成10年	工事	工事	
立場 ※	平成10年	工事	工事	
中田	平成10年	工事	工事	
下永谷	平成13年		工事	工事
ミツ沢下町(券売機室、案内所)	平成14年	工事		
横浜駅(出札・仮眠室)	平成8年	設計	工事	工事
戸塚駅 ※	平成元年	設計	工事	工事
新羽車両基地	平成14年		設計	工事
上永谷車両基地	平成10年		設計	工事
設計費	—	2,736		
工事費	—	106,532		
計	—	109,268		

※別予算にて計上

★決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	261,677	35,078				
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
23 事務室系空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅の事務室系の空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーニングしており、各系統ごと駅の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。これまでの空調機更新は、年式の古いもの、また故障率の高いものを順次部分的に更新を行ってきたため、各所に法定耐用年数15年を超えた空調機が存在します。また設置から20年を経過した空調機は故障率が増加傾向にあります。さらに平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護また地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃の予定となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから駅単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

■ 空調機更新計画

	設置年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
阪東橋	平成2年	工事		
センター南	平成5年	工事		
上大岡 ※1	平成7年	工事	工事	工事
下飯田	平成11年	工事		
立場	平成10年	工事		
中田	平成10年	工事	工事	
下永谷	平成13年	工事		
ミツ沢下町(券売機室、案内所)	平成14年	工事		
横浜駅(出札・仮眠室)	平成8年	設計	工事	
戸塚駅 ※2	平成元年	設計	工事	
新羽車両基地			設計	工事
上永谷車両基地			設計	工事
設計費	—	2,736		
工事費	—	261,677		
計	—	264,413		

★予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	2,736					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
24 動力監視盤改修工事	81,454

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成5年3月に開業したあざみ野線各駅に設置した監視盤では、現在、稼働年数の経過による劣化が進行しており、故障部品が製造中止になるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

【年次計画】

実施駅(予定)	R1	R2 (予定)	R3 (予定)	R4 (予定)	R5 (予定)	R6 (予定)
中川	●工事 □設計					
中山	●工事					
仲町台				●工事		
新羽			●工事			
北新横浜		●工事				
戸塚	□設計	●工事				
踊場	□設計		●工事			
中田		□設計			●工事	
立場			□設計		●工事	
下飯田			□設計		●工事	
湘南台		□設計		●工事		
設計費	1,733					
工事費	64,053	81,454	—	—	—	—
各年度計	65,786					

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	64,053	81,454				145,507
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目 款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	担当 所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森
---	------------------------------

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
25 動力監視盤改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成5年3月に開業したあざみ野線各駅に設置した監視盤では、現在、稼働年数の経過による劣化が進行しており、故障部品が製造中止になるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

【年次計画】

実施駅(予定)	R1	R2 (予定)	R3 (予定)	R4 (予定)	R5 (予定)	R6 (予定)
中川	●工事					
中山	□設計 ●工事					
仲町台				●工事		
新羽			●工事			
北新横浜		●工事				
戸塚	□設計	●工事				
踊場	□設計		●工事			
中田		□設計			●工事	
立場			□設計		●工事	
下飯田			□設計		●工事	
湘南台		□設計		●工事		
設計費	1,733					
工事費	64,053	81,454	-	-	-	-
各年度計	65,786					

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	1,733					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
26 排水ポンプほか更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~31年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

■ポンプ更新計画(更新工事は動力制御盤の更新工事を含む)

対象機器	H30年度設計・R1年度工事	R1年度設計・R2年度工事	R2年度設計・R3年度工事
排水ポンプ	高島町 2台(平成11年) 舞岡 2台(平成7年) 北山田 2台(平成19年) 高田 2台(平成19年)	吉野橋第1 3台(平成7年) 吉野橋第2 3台(平成8年) 吉田町中間 3台(昭和61年) あざみ野 2台(平成3年) 新横浜 2台(昭和59年)	岸根公園 2台(平成15年) 片倉町第1 2台(平成12年) 鶴見第1 2台(昭和59年) 鶴見第2 2台(昭和59年) 長島中間 3台(平成8年)
給水ポンプ	上永谷 3台(平成10年)		新羽 2台(平成3年)
汚水ポンプ	長者町第1 2台(平成6年) 吉野町 2台(平成6年) 蒔田 4台(平成7年)	北新横浜 2台(平成3年) 高島町 2台(平成11年)	上大岡第2 2台(平成7年) 港南中央 2台(昭和50年)
中水ポンプ	舞岡 2台(昭和57年) 三ツ沢下町(平成14年) 下永谷 2台(平成13年)	三ツ沢上町 2台(平成11年) 川和車両基地 2台(平成19年)	
攪拌機	港南中央 1台(平成19年) 高島町 1台(平成19年) 蒔田 1台(平成7年) 北新横浜 1台(平成3年)	戸塚 1台(平成11年) 弘明寺 1台(平成12年) 岸根公園 1台(平成15年)	

予算年度	R1年度	R2年度	R3年度
設計費	5,400		
工事費	89,930		
計	95,330		

※ 決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

ポンプの劣化・故障状況により対象ポンプを見直し。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	74,668					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
27 排水ポンプほか更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~31年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

■ポンプ更新計画(更新工事は動力制御盤の更新工事を含む)

対象機器	H30年度設計・R1年度工事	R1年度設計・R2年度工事	R2年度設計・R3年度工事
排水ポンプ	高島町 2台(平成11年) 舞岡 2台(平成7年) 北山田 2台(平成19年) 高田 2台(平成19年)	吉野橋第1 3台(平成7年) 吉野橋第2 3台(平成8年) 吉田町中間 3台(昭和61年) あざみ野 2台(平成3年) 新横浜 2台(昭和59年)	岸根公園 2台(平成15年) 片倉町第1 2台(平成12年) 鶴見第1 2台(昭和59年) 鶴見第2 2台(昭和59年) 長島中間 3台(平成8年)
給水ポンプ	上永谷 3台(平成10年)		新羽 2台(平成3年)
汚水ポンプ	長者町第1 2台(平成6年) 吉野町 2台(平成6年) 藤田 4台(平成7年)	北新横浜 2台(平成3年) 高島町 2台(平成11年)	上大岡第2 2台(平成7年) 港南中央 2台(昭和50年)
中水ポンプ	舞岡 2台(昭和57年) 三ツ沢下町(平成14年) 下永谷 2台(平成13年)	三ツ沢上町 2台(平成11年) 川和車両基地 2台(平成19年)	
攪拌機	港南中央 1台(平成19年) 高島町 1台(平成19年) 藤田 1台(平成7年) 北新横浜 1台(平成3年)	戸塚 1台(平成11年) 弘明寺 1台(平成12年) 岸根公園 1台(平成15年)	

予算年度	R1年度	R2年度	R3年度
設計費	5,400		
工事費	89,930		
計	95,330		

※ 決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

ポンプの劣化・故障状況により対象ポンプを見直し。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,128					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
28 給湯設備更新その他工事	

(1 事業目的・内容)

駅に設置されている浴室用給湯設備は、稼動から20年を迎えるものもあり、一般的な耐用年数である15年を越え、設備の劣化が進行しています。製造から長期間経過する機器は、給湯器メーカーの在庫保有も少なくなり、故障時の修理・整備に時間を要することになるため、劣化の著しい機器を優先し計画的な更新を行い各駅の給湯機能を確保します。また、変電所に設置されている職員用トイレは和式便器で、建設当初から部分補修を重ね使用し続けているものです。現在、トイレ器具や配管等に部分損傷や腐食が見られるため、和式から洋式化への改修を行います。

		H29	H30	R1	R2	備考
設 計	給湯	立場、北新横浜、セター南	湘南台、下飯田	長者町、片倉町	—	
	変電所	上永谷、最戸、蒔田	笹下、牛久保、荏田	茅ヶ崎、北の谷、蒔田※	—	※換気設備改修設計
	設計費	1,015	1,534	2,216	—	
工 事	給湯	踊場、(新横浜)、仲町台	立場、北新横浜、セター南	(湘南台)	下飯田、片倉町	()は別予算にて実施
	変電所	—	上永谷、最戸、蒔田	笹下、牛久保	荏田	
	工事費	5,510	16,003	4,693		

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 1997-20-00054 (長者町)
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	4,693					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
29 ずい道換気送風機更新工事	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去及び地下空間の環境維持、また列車火災の発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するため、駅及び中間換気所に設置されています。本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食やモーター・軸受けの消耗、絶縁の低下が見られ設備の老朽化が進んでいます。良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙能力を確保するため、計画的な更新工事を行います。

		H29	H30	R1	R2	備考
設 計	換気送風機	沢渡中間換気所(4台)	花咲中間換気所(8台)	大江橋中間換気所(8台)	片倉中間換気所(4台)	
	消音改修	無	無	無	有	
	設計費	2,875	2,350	3,875		
工 事	換気送風機	吉田町中間換気所(4台)	沢渡中間換気所(4台)	花咲中間換気所(8台)	大江橋中間換気所(8台)	
	消音改修	有	無	無	無	
	工事費	72,706	61,755	56,676		

※実績

※実績

※決算見込

※花咲中間換気所は更新ではなくオーバーホール

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	56,676					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
30 ずい道換気送風機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去及び地下空間の環境維持、また列車火災の発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するため、駅及び中間換気所に設置されています。本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食やモーター・軸受けの消耗、絶縁の低下が見られ設備の老朽化が進んでいます。良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙能力を確保するため、計画的な更新工事を行います。

		H29	H30	R1	R2	備考
設 計	換気送風機	沢渡中間換気所(4台)	花咲中間換気所(8台)	大江橋中間換気所(8台)	片倉中間換気所(4台)	
	消音改修	無	無	無	有	
	設計費	2,875	2,350	3,875		
工 事	換気送風機	吉田町中間換気所(4台)	沢渡中間換気所(4台)	花咲中間換気所(8台)	大江橋中間換気所(8台)	
	消音改修	有	無	無	無	
	工事費	72,706	61,755	56,676		

※実績

※実績

※決算見込

※花咲中間換気所は更新ではなくオーバーホール

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,875					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
31 エアフィルター更新工事	

(1 事業目的・内容)

地下駅には、良好な駅環境を維持するため、外気取り入れ口にエアフィルター設備を設置しています。当該設備は、設置から長期間が経過しており、著しい汚れの付着による目詰まりが発生し、また捕集した粉じん等を取り除く真空掃除機のモーター不良や脱落故障が頻繁に発生し、都度修理対応を重ねてきている状況です。良好な駅環境を維持するため、低下してきている捕集性能を改善し適正処理する設備更新を計画的に行います。また、変電所に設置されている換気ダクトの腐食が著しく換気機能を維持するため、送風機を含むダクト改修を行います。

		H29	H30	R1	R2	備考
設 計	1号線	戸塚、舞岡、下永谷	踊場	長者町、弘明寺	湘南台、あざみ野	
	3号線	岸根公園	—	—	—	
	設計費	2,951	1,624	2,374		
工 事	1号線	上大岡	戸塚、舞岡、下永谷	立場、中田	踊場、弘明寺、長者町	
	3号線	三ツ沢上町、片倉町	—	岸根公園	(蒔田変電所)	
	工事費	(H28債務負担工事)	30,172	38,749		

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	38,749					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、森

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
32 エアフィルター更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下駅には、良好な駅環境を維持するため、外気取り入れ口にエアフィルター設備を設置しています。当該設備は、設置から長期間が経過しており、著しい汚れの付着による目詰まりが発生し、また捕集した粉じん等を取り除く真空掃除機のモーター不良や脱落故障が頻繁に発生し、都度修理対応を重ねてきている状況です。良好な駅環境を維持するため、低下してきている捕集性能を改善し適正処理する設備更新を計画的に行います。

		H29	H30	R1	R2	備考
設 計	1号線	戸塚、舞岡、下永谷	踊場	長者町、弘明寺	湘南台、あざみ野	
	3号線	岸根公園	—	—	—	
	設計費	2,951	1,624	2,374		
工 事	1号線	上大岡	戸塚、舞岡、下永谷	立場、中田	踊場、弘明寺、長者町	
	3号線	三ツ沢上町、片倉町	—	岸根公園	(蒔田変電所)	
	工事費	(H28債務負担工事)	30,172	38,749		

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	2,374					
債務負担設定						

令和2年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建設改良課 担当者名：岡田、天野

(6 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	844,000	1,272,919				
債務負担設定	220,000					

- R2年度債務負担設定(～R4年度) 千円 【駅施設改良後期工事】
- R2年度債務負担設定(～R3年度) 千円 【交差部工事(その4)】
- 30年度債務負担設定(～32年度) 1,246,000 千円 【駅施設改良前期工事】
- 31年度債務負担設定(～32年度) 220,000 千円 【駅施設改良前期工事(その2)】

令和2年度 総係費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 01 建設費	所属: 技術管理部、工務部各課 担当者名: 総務部 経営管理課

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B
予算額	85,056	93,540	△ 8,484

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

細節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
40 修繕費	60	什器修理
49 備用品費	8,579	事務用品、現場作業用備品、書籍等
50 被服費	6,323	新規採用者、転入・異動者等への制服貸与
51 光熱水費	449	新横浜工事事務所光熱費
56 旅費	10,897	市内・市外出張旅費、検査出張旅費、地下鉄技術協議会出張旅費
57 通信運搬費	364	新横浜工事事務所電話代、切手代等
58 印刷製本費	454	大判印刷、図面印刷等
60 負担金	6,759	協議会等年会費、土木積算システム負担金等
61 会議費	44	会議飲料代
63 委託料	35,338	地下鉄図面のデータ加工、メール便、新横浜工事事務所清掃等
64 手数料	4,251	鉄道設計技士試験受験料、各種技能講習会受講料等
65 賃借料	9,895	営繕積算システム利用料、会議室利用料、新横浜工事事務所賃料
66 諸謝金	20	学識経験者意見聴取諸謝金
68 保険料	66	新横浜工事事務所保険料
96 雑費	1,557	タクシー借上げ代、沿道補償費
合 計	85,056	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)